SONY

4-488-536-**02**(1)

ポータブルラジオレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICZ-R100

⚠警告 安全のために (→117ページ～ 118ページもあわせてお読みください。)

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

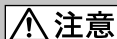
警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

マニュアルについて

紙で見る

本書（取扱説明書）
ポータブルラジオレコーダーの詳細操作情報を記載しています。

かんたんスタートガイド（別冊）
ポータブルラジオレコーダーの基本操作(ラジオ受信・録音・再生・消去)や、ポータブルラジオレコーダーを活用するための情報などを記載しています。

Sound Organizerを使う（別冊）
パソコンにインストールできるソフト「Sound Organizer」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。

パソコン
スマートホン
タブレットで見る

ヘルプガイド
パソコンでポータブルラジオレコーダーを楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を調べることができます。
（→ 116ページ）

また、外出先などでスマートホンやタブレット端末で調べることもできます。

ポータブルラジオレコーダー サポート・お問い合わせページ
（→ 116ページ）
トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

Sound Organizerヘルプ（→「Sound Organizerを使う」（別冊））
Sound Organizerの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

準備する

ラジオを聞く

ラジオを録音する

録音したファイルを再生する

マイクや他の機器をつないで使う

編集する

設定を変更する

パソコンを活用する

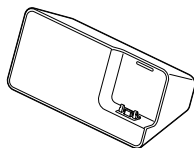
その他

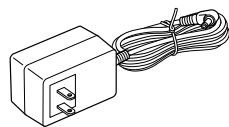
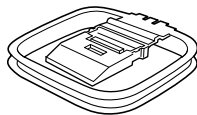
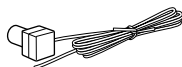
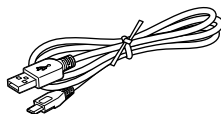
困ったときは

準備1：箱の中身を確認する

本体(1)

表示窓に貼られているフィルムをはがしてお使いください。

スピーカークレードル(1)

ステレオヘッドホン(1)

ACアダプター (5V)(1)

AMラジオ用ループアンテナ(1)

FMラジオ用アンテナケーブル(1)

USBケーブル(1)

パソコンに接続する場合は必ず付属のケーブルを使って、接続してください。

取扱説明書(1)

かんたんスタートガイド(1)

Sound Organizerを使う(1)

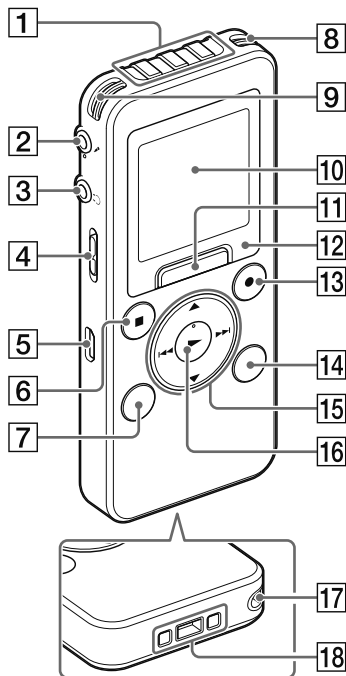
保証書(1)

「製品登録」のおすすめ(1)

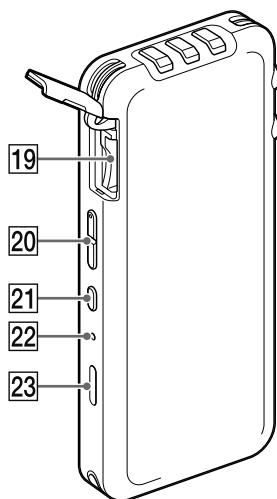
ポータブルラジオレコーダー本体の内蔵メモリーには、アプリケーションソフトSound Organizerが保存されています。アプリケーションソフトSound Organizerは、パソコンにインストールしてお使いください。

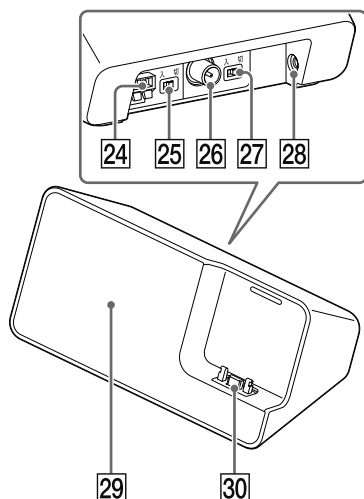
この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ポータブルラジオレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 お気に入りラジオ局(1、2、3)ボタン
2 (マイク)ジャック[*1]
3 (ヘッドホン)ジャック
4 ホールド・電源スイッチ
5 USB 端子
6 ■ 停止ボタン
7 戻る/ホームボタン
8 内蔵マイク(R)
9 内蔵マイク(L)
10 表示窓
11 予約ボタン
12 録/再ランプ
13 ● 録音/一時停止ボタン
14 オプション/録音済ファイルボタン
15 コントロールボタン(▲ DPC(速度調節)、▼ (リピート)A-B / ⏮ 早戻し)、⏭(早送り))
16 ► (再生/決定)ボタン[*1]
17 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
18 クレードル接続端子

準備する

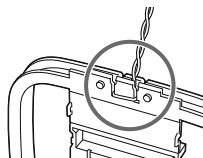
本体（裏面）

19 M2™／ microSDメモリーカードスロット*2（蓋の中にあります）
20 音量－／＋*1ボタン
21 トラックマークボタン
22 RESET（リセット）ボタン
23 スピーカー

スピーカークレードル

24 AM外部アンテナ接続端子
25 AM外部アンテナ切り換えスイッチ
26 FM外部アンテナ接続端子
27 FM外部アンテナ切り換えスイッチ
28 DC入力 5V端子
29 スピーカー
30 本体接続端子

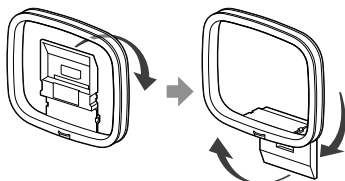
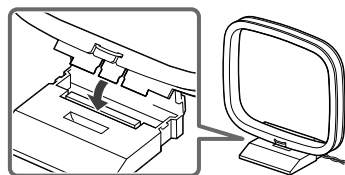
*1 凸点（突起）がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。
*2 本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。また、M2™／microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。

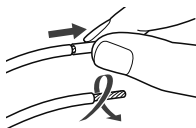
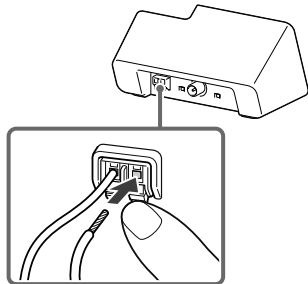
準備2：スピーカークレードルを準備する

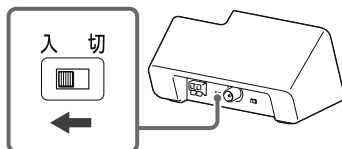
AMアンテナを接続する

1 付属のAMラジオ用ループアンテナに巻かれているアンテナコードをフックからはずし、図の位置まで伸ばす。

2 下図のように組み立てる。

①台座を倒す。

②図の位置で折り曲げて、さらに前方に回転させる。

③フレームの突起部を台座の溝にはめ込む。

「カチッ」と音がするまで、強く押し込む。

3 コード先端部の被覆を取り、接続しやすいように芯線をよじる。

4 スピーカークレードルのAM外部アンテナ接続端子のレバーを押しながらアンテナコードを接続する。

レバーを押して、金属導線部（アンテナコードがむき出しになっている部分）を確実にはさむ。
必ず左右の端子を2か所ともはさんでください。

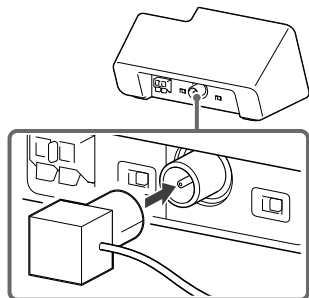
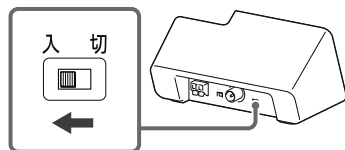
5 AM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」の位置にスライドする。

ヒント

ポータブルラジオレコーダーの本体に内蔵されたアンテナで受信する場合は、AM外部アンテナ切り換えスイッチを「切」の位置に戻してください。

ご注意

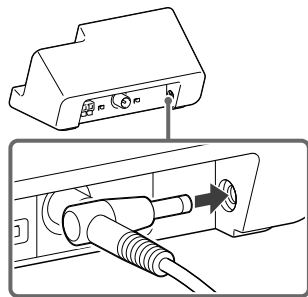
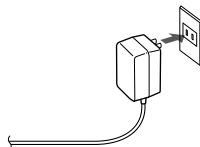
AMラジオ用ループアンテナは、受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。雑音の原因になるため、本体や他のAV機器から離してください。

FMアンテナを接続する

1 付属のFMラジオ用アンテナケーブルを、スピーカークレードルのFM外部アンテナ接続端子に接続する。

2 FM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」の位置にスライドする。

ヒント
ポータブルラジオレコーダーのヘッドホンコードで受信する場合は、FM外部アンテナ切り換えスイッチを「切」の位置に戻してください。

ご注意
FMラジオ用アンテナは、受信状態の良い場所や方向を探し、長く伸ばしてご使用ください。雑音の原因になるため、本体や他のAV機器から離してください。

ACアダプターを接続する

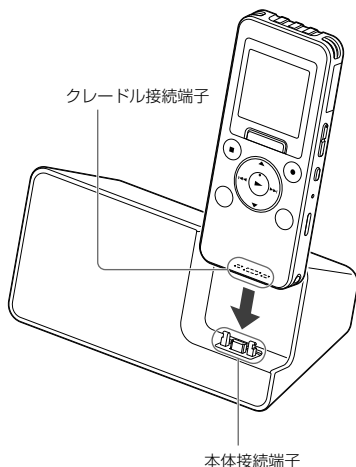
1 ACアダプター（付属）のDCプラグをスピーカークレードルのDC入力5V端子につなぐ。

2 ACアダプターをコンセントに差し込む。

ご注意
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を切ってください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

準備3：充電する

スピーカークレードルで充電する

付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを接続し、内蔵充電式電池を充電したり、充電しながらポータブルラジオレコーダーを使用できます。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。
電池を使いきった状態から約2時間30分で充電が完了*します。

* 室温で電池残量がない状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、異なる場合があります。

1 ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子を、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続する。

充電中は、電池マーク（①）がアニメーション表示されます。
充電をしながらポータブルラジオレコーダーを使うことができます。

充電の目安

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

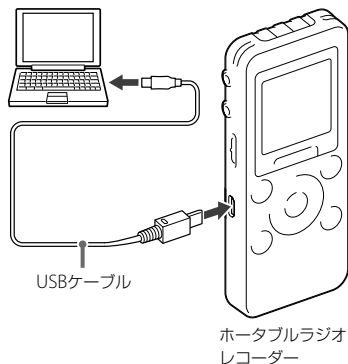
電池の残量表示

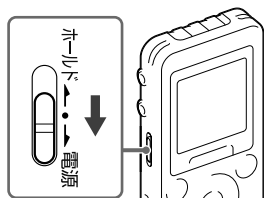
: 電池残量が少なくなっています。早めに充電してください。

↓

: 「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

パソコンを使って充電する

付属のUSBケーブルを使って、ポータブルラジオレコーダーのUSB端子と起動しているパソコンのUSBポートをつないでください。

準備4：電源を入れる

電源を入れる

画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります。

電源を切る

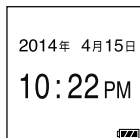
画面に「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

ヒント

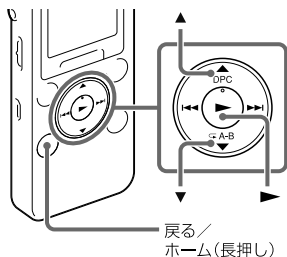
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働き、電源が切れます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）
- スリープタイマーが設定されているときは、設定時間になると自動的に電源が切れます。
- 最後に電源を切ってから4時間以内に再度電源を入れた場合は、すばやく起動します。

現在時刻表示について

ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルに接続しているときは、電源を切ると現在時刻が表示されます。

2014年 4月15日
10:22 PM

ご注意

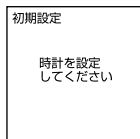
スピーカークレードルからはずしているときは、時刻は表示されません。

準備5：初期設定をする

お買い上げのあと、初めて電源を入れたときは、次の手順に従って初期設定を行ってください。
時計設定 → 操作音の設定 → 地域設定 → 自動時刻補正の設定

電池を充電後すぐに時計を合わせる

予約機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、ポータブルラジオレコーダーの時計を合わせておく必要があります。
初めて電源を入れたときや時計が設定されていないときは、画面に「時計を設定してください」と表示されますので、初期設定を開始してください。

初期設定

時計を設定
してください

1 年月日と時分を合わせる。

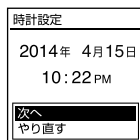
▲ または ▼ を押して、年の数字（西暦）を選び、► ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。

時計設定

2014年　1月　1日

12：00 AM

「分」の数字を選び、► ボタンを押すと、時計設定確認画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ を押して「次へ」を選び、► ボタンを押す。

設定が時計に反映され、「操作音を使用しますか？」と表示されます。
続いて、操作音の設定をしてください。

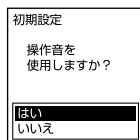
ヒント
「やり直す」を選んだ場合は手順1に戻ります。

途中で操作を間違えたら

戻る／ホームボタンを押すと、1つ手前の画面に戻ることができます。

操作音を設定する

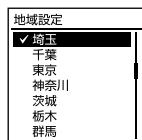
操作確認音のオン／オフを設定できます。

1 ▲ または ▼ を押して「はい」または「いいえ」を選び、► ボタンを押す。

設定が完了すると、「ラジオ受信する地域を設定してください」と表示されます。
続いて「現在いる地域を設定する」（16ページ）の手順に従って、地域を設定してください。

ヒント
それぞれの手順の間を1分以上あけると、初期設定の中止確認画面が表示されます。その画面で「はい」を選ぶか、さらに1分間放置すると初期設定画面が終了し、ホームメニューが表示されます。「いいえ」を選ぶと、手順1に戻ります。

現在いる地域を設定する

現在いる地域を設定すると、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。お買い上げ時は地域設定されていません。

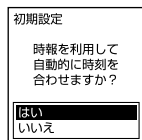
1 「ラジオ受信する地域を設定してください」というメッセージから地域名の表示に変わったら、▲または▼を押して地域を選び、► ボタンを押す。

地域については次ページの「地域一覧」をご覧ください。

地域が設定されると、「時報を利用して自動的に時刻を合わせますか？」と表示されます。
続いて「自動時刻補正を設定する」の手順に従って、自動時刻補正を有効に設定してください。

ヒント
地域が正しく設定されるとAMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されます。

自動時刻補正を設定する

自動時刻補正を有効にすると、NHK第1放送またはNHK第2放送の時報に合わせて、自動的に時刻が補正されます。

1 ▲または▼を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

メッセージが表示され、自動時刻補正機能が有効に設定され、初期設定が終了します。
設定が完了するとホームメニューが表示されます。

ヒント
「いいえ」を選んだ場合でも、初期設定は終了します。
後から設定を変更したいときは、「メニューを使って時刻補正を設定するには」(77ページ)をご覧ください。

自動時刻補正のしくみ

ポータブルラジオレコーダーでは、午前0時、午前8時、午後4時の1日3回、およびそれぞれの時刻の1時間前に時刻確認を行います。この両方で電源が切られた状態で、AMラジオのP01に登録されたNHK放送の時報を自動的に検出し、時刻の補正を行います。
時刻補正を行うためには以下の条件を満たしている必要があります。

- 時計が設定されている。
- ポータブルラジオレコーダーの設定時刻と時報の時刻の差が3分以内に設定されている。
- 地域が正しく設定されている。(AMラジオのプリセット番号P01に時報を放送するNHK第1放送またはNHK第2放送が登録されている。)
- 時刻補正メニューの設定が「自動時刻補正」になっている。
- 時刻補正を行う定刻の前後3分間、事前確認を行う定刻の1時間前の前後3分間に電源を切っている。

ご注意

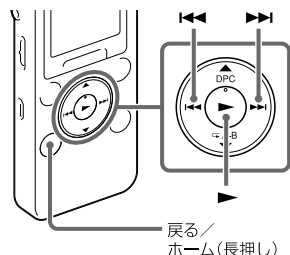
- 以下の場合は、自動時刻補正ができません。
  - AMのプリセット番号P01に、時報補正に使用する、NHK第1放送またはNHK第2放送が設定されていない場合
  - ラジオの受信状態が悪い場合
  - 予約録音動作中の場合
  - 設定された時刻が3分以上ずれていて、処理中に時報音が検出できない場合
- 自動時刻補正中にホールド・電源スイッチをスライドさせた場合、放送を切り換えた場合、またはラジオの周波数を変更した場合は、自動時刻補正は停止します。

地域一覧

地域名
北海道(札幌)
北海道(函館)
北海道(旭川)
北海道(帯広)
北海道(釧路)
北海道(北見)
北海道(室蘭)
青森
岩手
秋田
宮城
山形
福島
埼玉
千葉
東京
神奈川
茨城
栃木
群馬
山梨
長野
静岡
愛知
岐阜
三重
新潟

地域名
富山
石川
福井
大阪
京都
兵庫
滋賀
奈良
和歌山
鳥取
島根
岡山
広島
山口
徳島
香川
愛媛
高知
福岡(福岡)
福岡(北九州)
佐賀
長崎
大分
熊本
宮崎
鹿児島
沖縄

準備6：お使いになる前に ー 基本操作の確認

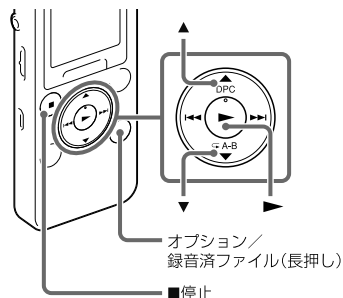
ホームメニューで使いたい機能を選ぶ

ポータブルラジオレコーダーでは、各機能の入り口がホームメニューになります。
ここから各機能を選んだり、録音したファイルを探したり、設定を変更することができます。

1 戻る／ホームボタンを長押しする。
ホームメニューが表示されます。

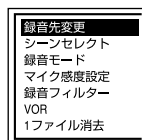
ホームメニューは下記のように並んでいます。

2 ⏮ または ⏭ を押して使いたい機能を選び、► ボタンを押す。

ポッドキャスト		パソコンから転送したポッドキャストファイルを選んで、再生できます。
ミュージック		パソコンから転送した音楽ファイルを選んで、再生できます。
録音したファイル		ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを選んで、再生できます。
AMラジオ		AMラジオ画面を表示して、AMラジオを聞いたり、録音したりできます。
FMラジオ		FMラジオ画面を表示して、FMラジオを聞いたり、録音したりできます。
マイク録音		外部マイクや内蔵マイクでの録音画面を表示します。録音を開始するには、● 録音／一時停止ボタンを押します。
オーディオ入力		（マイク）ジャックにつないだ外部機器からの録音、再生画面を表示します。録音を開始するには、● 録音／一時停止ボタンを押します。
各種設定		各種設定メニューを表示して、ポータブルラジオレコーダーのさまざまな設定ができます。
XX画面へ*		ホームメニューに入る前に表示していた画面に戻ります。 * XXには、現在使用している機能が表示されます。

オプションメニューで設定する

オプション／録音済ファイルボタンを押すと、ポータブルラジオレコーダーの各機能に応じたオプションメニューが表示され、設定の変更などができます。

1 ホームメニューで機能を選んだあと、オプション／録音済ファイルボタンを押す。

使用している機能のオプションメニューが表示されます。

2 ▲または▼を押して設定したい項目を選び、► ボタンを押す。

ヒント

現在選ばれている項目にはチェックマークが付いています。

3 ▲または▼を押して設定内容を選び、► ボタンを押す。

ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、自動で元の画面に戻ります。

ヒント

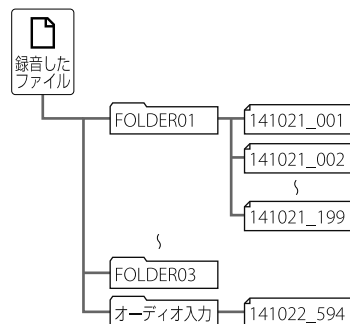
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

フォルダとファイルについて

ポータブルラジオレコーダーで録音した音声ファイルは、フォルダに保存されます。

初期設定で、下記のフォルダが自動的に作成されます。

「FOLDER01」～「FOLDER03」:
　マイク録音したファイルが保存されます。

「オーディオ入力」:
　オーディオ入力を録音したファイルが保存されます。

ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様に、フォルダ名を放送局名や周波数で作成します。すでに同名のフォルダが存在する場合は、そのフォルダ内に保存されます。

スピーカークレードルを使う

スピーカークレードルに載せる

付属のスピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーをセットすると、ラジオ放送や音声ファイルをスピーカークレードルのスピーカーから出力することができます。
スピーカークレードルからの音量は、ポータブルラジオレコーダーをスピーカークレードルにセットした状態で調節することができます。この時の音量設定は、ポータブルラジオレコーダーのみで設定した音量設定とは異なります。

ヒント

スピーカークレードルにポータブルラジオレコーダーを載せておくと、電源オフ時は現在時刻を表示します。

ご注意

ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子が、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続するように設置してください。

また、ラジオを聞くときや再生を楽しむときの使用方法は以下のページをご覧ください。

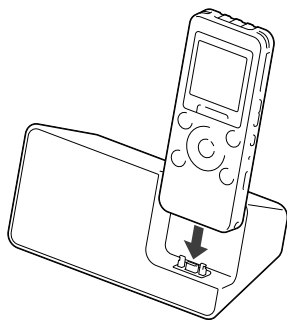
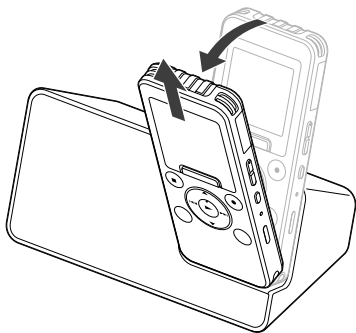
ラジオを聞くとき：

「スピーカークレードルに載せて使うときは」（24ページ）

その他の再生を楽しむとき：

「スピーカークレードルで聞く」（50ページ）

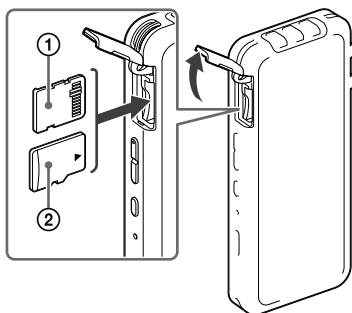
スピーカークレードルから取りはずす

ポータブルラジオレコーダーを手前に傾けるようにして取りはずしてください。

メモリーカードを入れる

ポータブルラジオレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

1 停止中にスロット蓋を開けて、M2™またはmicroSDカードを、メモリーカードスロットに、カチッと音がするまでしっかり差し込む。

①:M2™の端子面を手前に

②:microSDのカードラベル面を手前に

2 スロット蓋を閉める。

「メモリーカードに切り換えますか？」と表示されます。

ご注意

電源が入っていないときに操作をした場合は、メッセージが表示されません。電源を入れてから、ホームメニュー → 「(各種設定)」 → 「共通設定」 → 「メモリー切り換え」を選んで、使用するメモリーを選んでください(80ページ)

3 ▲または▼を押して、「はい」または「いいえ」を選び、► ボタンを押す。

ご注意

- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットの挿入口には、液体·金属·燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ポータブルラジオレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください(80ページ)。

ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード

このポータブルラジオレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いになれます。

メモリーカード	対応
microSDカード(～ 2 GB)	○
microSDHCカード(4 GB ～ 32 GB)	○
microSDXCカード(64 GB以上)	×
M2™カード(～ 16 GB)	○

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ポータブルラジオレコーダーサポート・お問い合わせページ

http://www.sony.jp/support/ic-recorder/

をご覧ください。

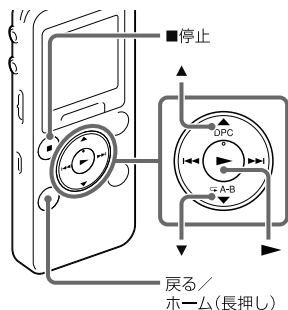
メモリーカードに記録／再生できるファイルのサイズはポータブルラジオレコーダーの仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC LCは1 GB未満です。

ご注意

対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを取り出すには

録音や再生が停止していることを確認し、メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

メモリーを切り換える

ポータブルラジオレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売りのメモリーカードを使ってファイルを録音、再生、編集できます。
メモリーは次の手順で切り換えます。

1 ホームメニュー →「(各種設定)」→「共通設定」→「メモリー切り換え」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「メモリーカード」を選び、► ボタンを押す。

3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

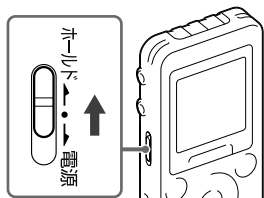
ヒント

- メモリーカードを初期化していない場合は、「メモリー切り換え」でメモリーを切り換えたあとで、ホームメニュー →「(各種設定)」→「共通設定」→「メモリー初期化」を選びます。
- ■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

誤操作を防止する（ホールド）

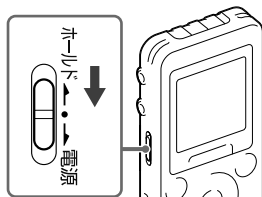
ポータブルラジオレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にできます（ホールド）。

ボタン操作をできなくするには

電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。

「ホールド」と約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

ホールドになっているときにボタン操作をすると、「ホールド中 ホールドスイッチを解除してください」と表示されます。

ボタン操作をできるようにするには

ホールドを解除するには、ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドします。

ラジオを聞く

1 ラジオのアンテナを確認する。

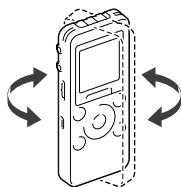
ラジオを受信するときは、使用方法にあわせてアンテナを確認してください。

ポータブルラジオレコーダーを持ち歩きながら使うときは

FMラジオ受信時

付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぎ、できるだけ長くのばしてお聞きください。

AMラジオ受信時

アンテナが内蔵されているので、ポータブルラジオレコーダーの向きによって受信状態が変わります。ポータブルラジオレコーダーをもっともよく受信できる向きにしてお聞きください。

スピーカークレードルに載せて使うときは

FMラジオ受信時

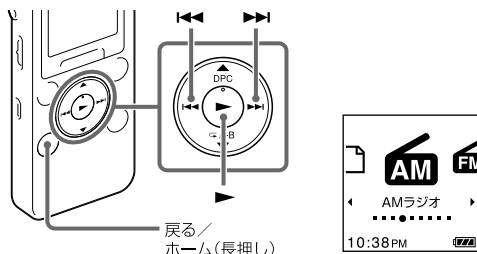
スピーカークレードルに接続した付属のFMラジオ用アンテナケーブルを長く伸ばしてお聞きください。このとき、スピーカークレードルのFM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。詳しくは「FMアンテナを接続する」（12ページ）をご覧ください。

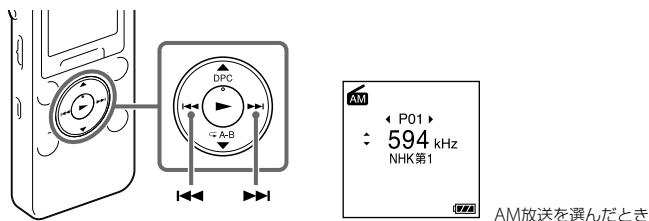
AMラジオ受信時

スピーカークレードルに接続した付属のAMラジオ用ループアンテナを、もっともよく受信できる向きにしてお聞きください。このとき、スピーカークレードルのAM外部アンテナ切り換えスイッチが「入」になっていることを確認してください。詳しくは「AMアンテナを接続する」（11ページ）をご覧ください。

ヒント

雑音（ノイズ）の少ないラジオ受信のしかたについて詳しくは、付属の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。

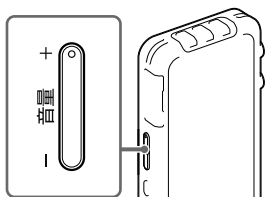
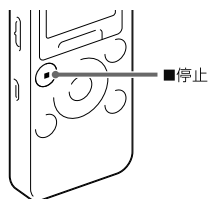
2 ホームメニュー → 「(AMラジオ)」または「(FMラジオ)」を選び、► ボタンを押して決定する。

AMラジオまたはFMラジオモードに入ります。

3 ⏮ または ⏭ を繰り返し押して、プリセット登録されている放送局から選局する(プリセット選局)。

AM放送を選んだとき

お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、⏮ または ⏭ を繰り返し押してください。

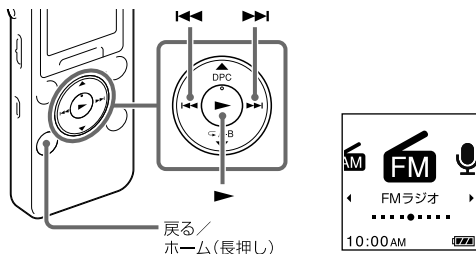
ヒント

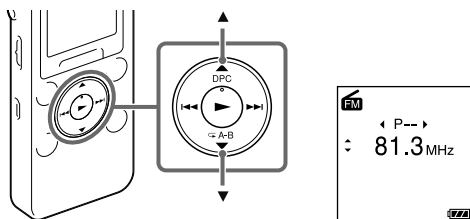
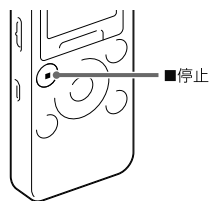
- 詳しくは「現在いる地域を設定する」(16ページ)をご覧ください。
- 初期設定で地域を設定していなかったり、プリセット登録をしなおしたりするときは、「ラジオ放送局をプリセット登録する」(30ページ)をご覧ください。

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

5 ラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

💡 ヒント

- ポータブルラジオレコーダーのお気に入りラジオ局ボタンにお好みの放送局を登録することができます。詳しくは「お気に入りラジオ局を登録する」（28ページ）をご覧ください。
- 周波数で選局して聞くこともできます。詳しくは「放送局を周波数で選局する（マニュアルスキャン選局）」（27ページ）をご覧ください。

放送局を周波数で選局する（マニュアルスキャン選局）

1 ホームメニュー → 「 (AMラジオ)」または「 (FMラジオ)」を選び、► ボタンを押して決定する。

AMラジオまたはFMラジオモードに入ります。

2 ▲ または ▼ を繰り返し押して選局する。

3 ラジオを止めるには■ 停止ボタンを押す。

オートスキャン選局するには

手順2で、▲ または ▼ を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。

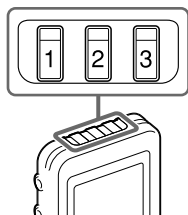
放送を受信できない場合は、▲ または ▼ を1回ずつ繰り返し押してください。

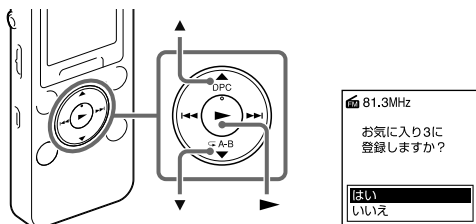
お気に入りラジオ局を使う

よく聞く放送局はお気に入りラジオ局ボタンに登録すると、ワンタッチで選局することができ便利です（29ページ）。3つのお気に入りラジオ局ボタンにそれぞれ1つずつ放送局を登録できます。

お気に入りラジオ局を登録する

1 「ラジオを聞く」（24ページ）の手順に従って、登録したい放送局を選局する。

2 登録先のお気に入りラジオ局ボタン（1 ～ 3）を1秒以上押したままにする。

バンドと周波数、および「お気に入り1（または2、3）に登録しますか？」が表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

お気に入りラジオ局ボタンに放送局が登録されます。登録をやめるには、▲ または ▼ を押して「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

ヒント

お気に入りラジオ局は、オプションメニューから登録することもできます。次の手順で登録してください。

① 「ラジオを聞く」(24ページ)の手順に従って、登録したい放送局を選局する。

② オプションメニュー → 「お気に入りに登録」を選び、 ► ボタンを押す。
登録先選択画面が表示されます。

③ ▲ または ▼ を押して、登録したいラジオ局ボタン(1 ～ 3)を選び、 ► ボタンを押す。
バンドと周波数、および「お気に入り1 (または2、3)に登録しますか？」が表示されます。

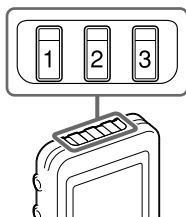
④ ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、 ► ボタンを押す。

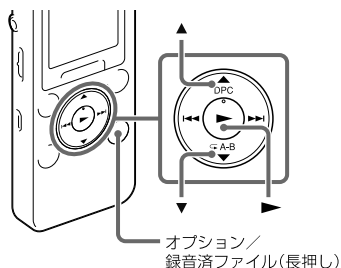
ご注意

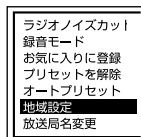
- お気に入りラジオ局ボタンに登録できるのは、AM、FMあわせて3つの局のみです。
- すでに放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタンを登録先にした場合は、あとから選んだ放送局で上書き登録されます。
- お気に入りラジオ局ボタンに登録した放送局は、別の放送局に上書き登録できますが、削除することはできません。
- 約1分間操作しないと、登録実行画面は消え、ラジオ受信画面に戻ります。

お気に入りラジオ局を聞く

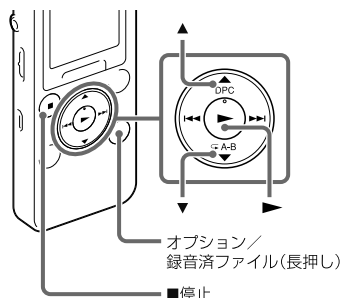
「お気に入りラジオ局を登録する」(28ページ)で登録した放送局をワンタッチで選局して聞くことができます。

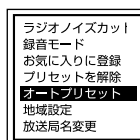
1 聞きたい放送局が登録されているお気に入りラジオ局ボタン(1 ～ 3)を押す。

ラジオ放送局をプリセット登録する

地域を設定して放送局を自動登録する

お買い上げ後の初期設定で地域設定をすると、地域に応じたラジオの放送局が自動で登録されます。
地域を変更する場合は、次のように操作してください。

1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「地域設定」を選び、► ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して地域を選び、► ボタンを押す。
「プリセットが上書きされます 実行しますか？」と表示されます。

3 ▲または▼を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。
選んだ地域に応じたAMとFMラジオの放送局を自動でプリセットに登録します。

自動でプリセット登録する（オートプリセット）

ラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録することができます。AM、FMそれぞれ最大30件まで登録することができます。

1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「オートプリセット」を選び、► ボタンを押す。

「プリセットが上書きされます 実行しますか？」と表示されます。

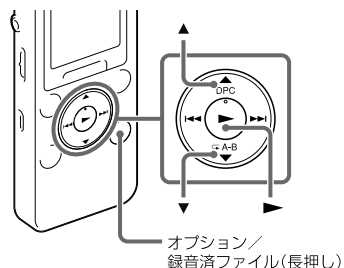
2 ▲または▼を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。
受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。登録するのは、現在受信中のバンド（AMまたはFM）のみです。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

オートプリセットを途中で止めるには

■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。

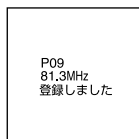
ご注意

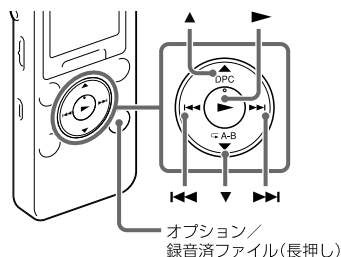
オートプリセットを実行すると、地域設定（16ページ）でプリセット登録された放送局が消去されます。オートプリセットで登録された周波数が地域設定の周波数と一致した場合は、放送局名も自動的に設定されます。

手動でプリセット登録する

登録されていないラジオ放送局をプリセット登録することができます。ポータブルラジオレコーダーに登録されていない中継局を登録する場合などに、この方法でプリセット登録してください。AM、FMそれぞれ最大30件まで登録することができます。

1 「放送局を周波数で選局する（マニュアルスキャン選局）」（27ページ）の手順1、2で、プリセット登録したい放送局を選局する。

選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

2 放送局受信中にオプションメニュー →「プリセットに登録」を選び、► ボタンを押す。

放送局がプリセット登録されます。

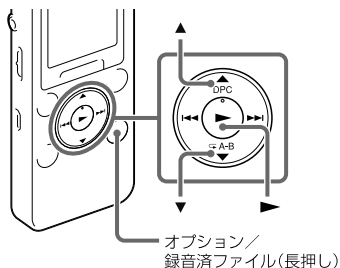
プリセット登録を消去する

1 「ラジオを聞く」の手順2（25ページ）で、⏮ または ⏭ を押して登録を消去したい放送局のプリセット番号を表示する。

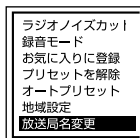
2 放送局受信中にオプションメニュー →「プリセットを解除」を選び、► ボタンを押す。

プリセット番号が「P--」へ変わります。

ご注意

自動時刻補正は、AMラジオのP01にプリセット登録されたNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用するため、P01のプリセット登録を消去すると、自動時刻補正ができなくなります。自動時刻補正機能をお使いの場合は、時報を受信するAMラジオのP01のプリセット登録は消さないようにしてください。

放送局名を変更する（放送局名変更）

受信中のプリセットされた放送局に、放送局名を選んで割り当てることができます。選んだ放送局名は、ラジオの受信画面などに表示されます。ポータブルラジオレコーダーにあらかじめ登録されている放送局（110ページ）の中継局（同地域で同じ放送をしている放送局）に放送局名を割り当てたい場合などにご使用ください。

1 ラジオ受信中にオプションメニュー → 「放送局名変更」を選び、► ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して放送局名を選び、► ボタンを押す。

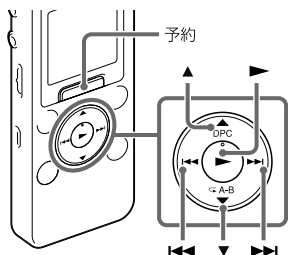
ご注意

「設定なし」を選択すると、放送局名は登録されません。

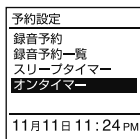
ご注意

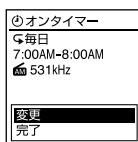
- 地域設定（16ページ）されていない場合は、放送局名の変更はできません。
- プリセットされていない周波数に対しては、放送局名の変更はできません。

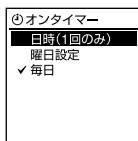
タイマーを使う

オンタイマーを使う

あらかじめ設定した時刻にラジオの受信やファイルの再生ができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に受信や再生するように設定できます。
設定できるオンタイマーは1件です。

1 予約ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して「オンタイマー」を選び、► ボタンを押す。

3 ▲または▼を押して「オン」を選び、► ボタンを押す。

4 ▲または▼を押して「変更」を選び、► ボタンを押す。

「完了」を選び、► ボタンを押すと、設定内容を編集せずにオンタイマーの設定を完了します。

5 オンタイマーの日時、時刻を設定する。

①▲または▼を押して、「日時(1回のみ)」、「曜日設定」、または「毎日」を選び、► ボタンを押す。

②**「日時(1回のみ)」を選んだ場合：**
年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。
「曜日設定」を選んだ場合：
▲/▼/⏮/⏭ でお好みの曜日を選び、► ボタンを押します。選んだ曜日にチェックマークが付いたら、▼で「次へ」を選んで► ボタンを押します。次に開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。
「毎日」を選んだ場合：
開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。

6 オンタイマーの音源を選ぶ。

①▲ または ▼ を押して、「AM」、「FM」または「ファイル再生」を選び、► ボタンを押す。

②**「AM」または「FM」を選んだ場合：**
▲ または ▼ を押して放送局を選び、► ボタンを押します。
「ファイル再生」を選んだ場合：
再生したいファイルが保存されているメモリーを選び、► ボタンを押します。次に、「録音したファイル」、「ミュージック」、「ポッドキャスト」のいずれかを選び、► ボタンを押します。続いて、フォルダ一覧からフォルダ、ファイル一覧から再生したいファイルを選び、► ボタンを押します。

7 予約確認画面で ▲ または ▼ を押して「完了」を選び、► ボタンを押す。
「⏻」が表示されて、オンタイマーが設定されます。

設定内容を変更するには

1 ～ 7の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

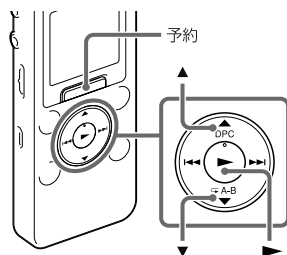
手順3で「オフ」を選び、► ボタンを押します。オンタイマーが解除され、表示窓のオンタイマー表示が消えます。

オンタイマーによるラジオ受信／ファイル再生を止めるには

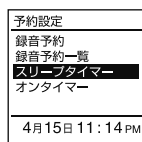
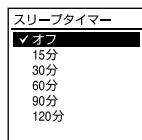
ポータブルラジオレコーダーのいずれかのボタンを押すと停止します。

ご注意

- プリセット登録していない放送局は、オンタイマーを設定できません。オンタイマーを設定する前に放送局をプリセット登録してください（30ページ）。
- オンタイマーを設定したい放送局が受信できることを、あらかじめ確認してください。
- オンタイマーは1件のみ設定できます。
- 電源を切っていても、オンタイマーは実行されます。
- 時計を合わせていない場合は、オンタイマーは実行できません。
- データ更新中にオンタイマーの開始時刻になった場合は、オンタイマーの設定が自動的に破棄されます。
- オンタイマーを設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみオンタイマーが設定されます。
- オンタイマーを設定したファイルを消去すると、開始時刻になってもファイル再生は実行されません。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

スリープタイマーを使う

一定の時間が経過したあとに、自動的にポータブルラジオレコーダーの電源が切れるよう設定できます。

1 予約ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して「スリープタイマー」を選び、► ボタンを押す。

3 ▲ または ▼ を押して電源が切れるまでの時間を選び、► ボタンを押す。

スリープタイマーが設定されます。
すでに設定されているスリープタイマーが作動中の場合は、電源が切れるまでの残り時間が一番上に「残り○○分」として表示されます。作動中のスリープタイマーを継続させる場合は、「継続」を選んで► ボタンを押します。

スリープタイマーを解除するには

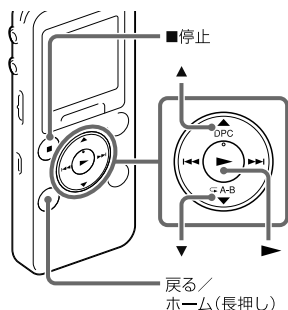
手順3で「オフ」を選びます。

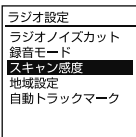
ご注意

スリープタイマー作動中に予約録音が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れたようになりますが、録音は継続されます。

ラジオを聞く

ラジオの設定を変更する

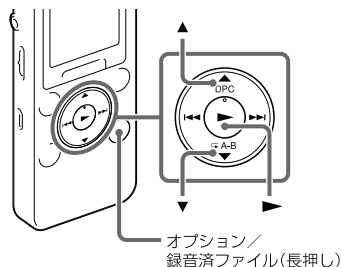
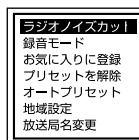
スキャン感度を設定するには

プリセット時のスキャン感度を設定できます。

1 ホームメニュー → 「（各種設定）」→「ラジオ設定」→「スキャン感度」を選び、► ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して、「高（SCAN H）」または「低（SCAN L）」を選び、► ボタンを押す。

お買い上げ時は、「高（SCAN H）」設定になっています。ノイズなどが登録されてしまう場合は、設定を「低（SCAN L）」に変更して再度プリセットをお試しください。

3 ■ 停止ボタンを押して、設定を終了する。

ラジオノイズカットを使用する

電波が弱く、雑音が気になるときはラジオノイズカット機能をお使いください。

1 ラジオ受信中にオプションメニュー →「ラジオノイズカット」を選び、► ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► ボタンを押す。

ご注意

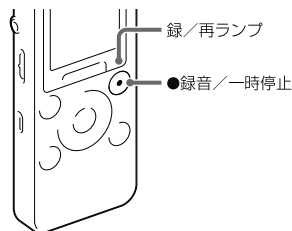
ラジオノイズカット機能は、ラジオ受信時、ラジオ録音時にのみ働きます。

受信中のラジオを録音する

ご注意

- 録音中に予約録音開始時刻になった場合は、予約録音が優先されます。
- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（13ページ）および受信環境、録音可能時間などをを確認してください。

1 「ラジオを聞く」（24ページ）の手順に従って、録音したい放送局を選ぶ。

2 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音が始まり、録／再ランプが赤色に点灯します。
保存先メモリーに多くのファイルが保存されている場合、アクセスに時間がかかり、すぐに録音が始まらない場合があります。

ご注意

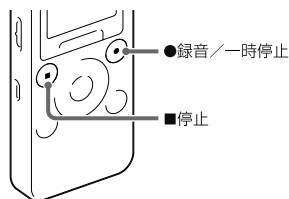
- 録音中は放送局を変更できません。
- ラジオ放送は、LPCMで録音できません。

ヒント

ラジオ放送を録音する場合は、録音ファイルの保存先フォルダは自動的に作成されます。録音予約の自動分類と同様にフォルダ名を放送局名や周波数で作成します（19ページ）。すでに同名のフォルダが存在する場合はそのフォルダ内に保存されます。

録音を止めるには

1 ■ 停止ボタンを押す。

録音中に● 録音／一時停止ボタンを押すと、録音を一時停止できます。

アクセス中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。この表示が出ている間は、ACアダプターやメモリーカードを抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤色に点滅し、●II（録音一時停止）表示と録音経過時間表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

- ひとつのフォルダには最大199のファイルが録音できます。
- Sound Organizerを使うと、フォルダを消去することができます。詳しくは、「Sound Organizerを使う」（別冊）をご覧ください。

ラジオを予約して録音する

録音予約する前にお読みください

録音予約を始める前に

- 録音予約を始める前に、受信環境や電池残量、録音可能時間などをご確認ください。
- 予約録音の開始時刻約1分前になると録音準備状態となり、録音予約を設定した放送局や外部入力から切り換えることができなくなります。
- メモリーの残量が十分あることをご確認ください。予約録音の途中でメモリーがいっぱいになると、録音が停止します。

録音予約について

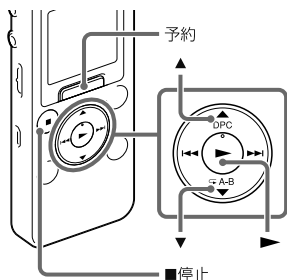
- 録音予約できる件数は20件までです。
- 録音予約する場合、1件で23時間59分(最大連続録音時間)を超える設定の予約はできません。
- 内蔵メモリーおよびメモリーカードへの最大録音時間について詳しくは92ページをご覧ください。
- 電源を切っていても、予約録音は実行されます。
- ポータブルラジオレコーダーの時計が正しく設定されていない場合は、予約録音が正確な時刻に実行されません。
- **前の予約録音終了時刻と次の予約録音開始時刻が同じ場合、前の予約録音の終了間際(約5秒間)は録音されません。**
- 録音中は受信バンド、外部入力や放送局を変更することはできません。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。
- プリセット登録していない放送局は、録音予約できません。録音予約をする前に放送局をプリセット登録してください(30ページ)。

制限事項について

- 以下の場合は録音ができない、録音が途中で終了する、または録音が正しく行われないことがあります。
  – 電波の受信状況が良くないとき
  – 電波の受信ができないとき
  – ポータブルラジオレコーダーの電池残量が少ないとき
  – ポータブルラジオレコーダーの録音可能時間が少ないとき
  – 日付と時刻が正しく設定されていないとき
  – パソコンと接続中のとき
  – 保存先をメモリーカードに設定していて、メモリーカードがポータブルラジオレコーダーに挿入されていない、またはメモリーの残量が少ないとき
  – 録音先のフォルダにファイルが199件以上保存されているとき

録音予約の実行について

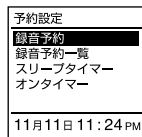
- 予約開始の約1分前から予約実行の準備を開始します。予約準備中に停止ボタンを押すと予約の実行を止めることができます。
- 電源が切れている状態で予約録音が開始すると画面に何も表示されませんが、録音は実行されます。録音を開始すると録/再ランプが赤に点灯します。
- 予約録音が実行されている状態でも電源のオン/オフができますが、予約録音は継続します。
- 録音予約の実行を途中で止めたい場合は、停止ボタンを押します。録音中止の確認画面が表示されます。
- マイクでの録音中や受信中のラジオを録音中に予約録音の開始時刻になった場合は、実行中の録音を停止し、予約録音を開始します。

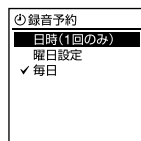
予約して録音する

あらかじめ設定した時刻にラジオ番組やオーディオ入力の録音予約ができます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に録音したりするように設定できます。
設定できる録音予約は20件までです。
なお、ラジオ受信中やオーディオ入力再生中でも、録音予約ができます。

1 録音予約する放送局が受信できることを確認する。

ヒント
実際に予約録音を行う場所で、正しく受信できることをあらかじめご確認ください。受信できない場合は、「ラジオを聞く」(24ページ)の手順1を試してください。

2 予約ボタンを押す。

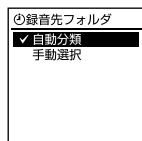
3 ▲ または ▼ を押して「録音予約」を選び、► ボタンを押す。

4 録音予約したい日時、時刻を設定する。

①▲ または ▼ を押して、「日時(1回のみ)」、「毎日」、または「曜日設定」を選び、► ボタンを押す。

②**「日時(1回のみ)」を選んだ場合:**
▲ または ▼ で年月日、開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。
「曜日設定」を選んだ場合:
▼/▲/⏮/⏭ と ► ボタンでお好みの曜日をチェックしたあと、「次へ」を選び、► ボタンを押して時刻設定画面に進みます。▲ または ▼ で開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。
「毎日」を選んだ場合:
▲ または ▼ で開始時刻および終了時刻を設定し、► ボタンを押します。

5 録音予約したい音源を選ぶ。

①▲ または ▼ を押して、「AM」「FM」または「オーディオ入力」を選び、► ボタンを押す。

②▲ または ▼ を押してお好みの放送局を選び、► ボタンを押す。

6 録音先フォルダの選択方法を選ぶ。

①▲ または ▼ を押して、「自動分類」または「手動選択」を選び、► ボタンを押す。

②**「自動分類」を選んだ場合：**
手順7の録音モード選択に進みます。
「手動選択」を選んだ場合：
▲ または ▼ を押して保存先のフォルダを選び、► ボタンを押します。

ヒント

「自動分類」を選ぶと、放送局名が設定されている場合は放送局名でフォルダが作成されます。放送局名が設定されていない場合は周波数でフォルダを作成します。

7 ▲ または ▼ を押して録音モードを選び、► ボタンを押す。

録音モードについて詳しくは58ページをご覧ください。
予約確認画面が表示されます。

8 ▲ または ▼ を押して「完了」を選び、► ボタンを押す。

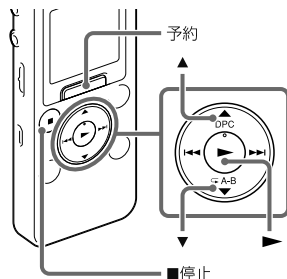
メッセージが表示され、元の画面に戻ります。
終了すると「」が表示されて、録音予約が設定されます。
設定した開始時刻が現在時刻を過ぎていた場合、予約設定終了後すぐに録音が開始します。

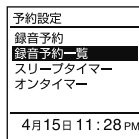
ご注意

- スリープタイマー作動中に予約録音が開始した場合、スリープタイマーを設定した時間に電源が切れたようになりますが、録音は継続されます。
- 録音予約とオンタイマーが同じ時刻に重なって設定されている場合は、録音予約が優先され、オンタイマーは実行されません。

録音予約の設定を途中でキャンセルするには

■ 停止ボタンまたは予約ボタンを押し、▲ または ▼ を押して「はい」を選んで、► ボタンを押します。

予約を確認する

1 予約ボタンを押す。

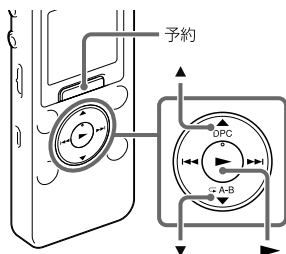
2 ▲ または ▼ を押して「録音予約一覧」を選び、► ボタンを押す。

設定されている録音予約の一覧が表示されます。

3 ▲または▼を押して詳細を確認したい録音予約を選び、► ボタンを押す。

予約の詳細が表示されます。

4 予約ボタンを押して、予約メニューを終了する。

■ 停止ボタンを押しても予約メニューを終了できます。

予約を変更する

1 「予約を確認する」の手順3の次に、▲または▼を押して「変更」を選び、► ボタンを押す。

予約した日時、バンド情報や放送局、フォルダ名などが表示されます。

2 「予約して録音する」(40ページ)の手順4から8をくり返す。

予約を削除するには

手順1で「削除」を選び、► ボタンを押し、▲または▼を押して「はい」を選び、► ボタンを押します。

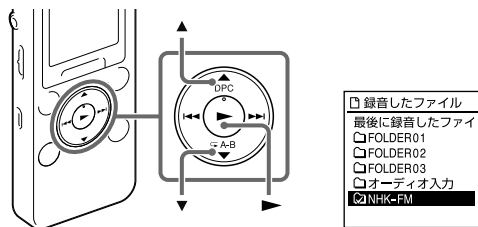
録音したラジオを再生する

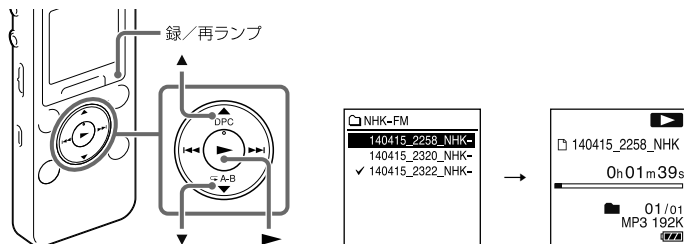
ファイルを選んで再生する（ラジオ用のフォルダ）

ホームメニューからラジオ録音したファイルを選び、再生や編集をすることができます。

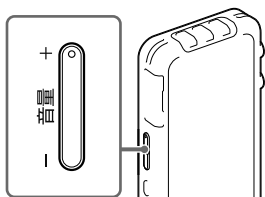
1 ホームメニューで「🗋（録音したファイル）」を選び、► ボタンを押す。

ラジオ放送を録音した場合は、フォルダ名が放送局名または周波数のフォルダが自動的に作成され、その中に保存されています。

2 ▲ または ▼ ボタンで再生したい放送局名または周波数のフォルダを選び、► ボタンを押す。

ファイル選択画面が表示されます。

3 ▲ または ▼ ボタンでファイルを選び、► ボタンを押す。

再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。

4 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

ヒント

再生中、または再生停止中は、⏮ または ⏭ を押してファイルを切り換えることができます。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	► ボタンを押す。 もう一度 ► ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルを繰り返し再生する	► ボタンを長押しする。 「⮎1」が表示され、現在のファイルが繰り返し再生されます。 もう一度 ► ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
今聞いているファイルの先頭に戻る	⏮ を短く1回押す。*[1]
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	⏮ を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*[2]）
次のファイルに進む	⏭ を短く1回押す。*[1]
さらに次のファイルに進む	⏭ を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*[2]）

*[1] トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（70ページ）。

*[2] トラックマークには止まりません。

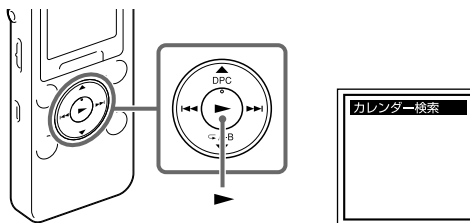
ファイル情報の表示を切り換える

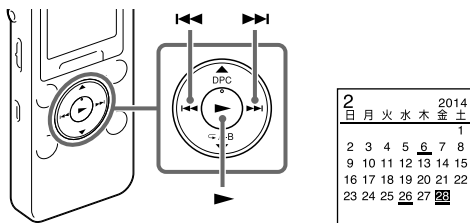
ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを選択中は、停止中にオプションメニューで「ファイル情報」を選ぶと、現在選択されているファイルの情報を表示します。
▲ または ▼ を押して、情報を切り換えます。

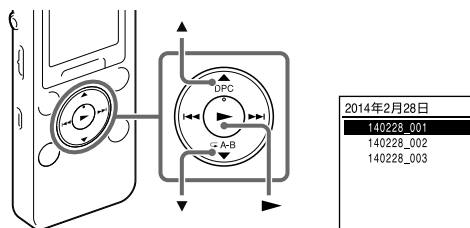
カレンダーから録音した日付を選んで再生する

カレンダーの録音日から再生ファイルを選ぶことができます。

1 **ホームメニューで「(録音したファイル)」を選び、► ボタンを押す。**

2 **オプションメニュー →「カレンダー検索」を選び、► ボタンを押す。**

カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

3 **⏮ または ⏭ を押して、日付を選び、► ボタンを押す。**

ファイルが存在する日付には下線が表示されます。
▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると連続して移動します。

4 ▲ または ▼ を押して、ファイルを選び、 ► ボタンを押す。

確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

5 ▲ または ▼ を押して、「決定」を選び、 ► ボタンを押す。

ファイルが再生されます。
「戻る」を選ぶと前の画面に戻ります。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

ご注意

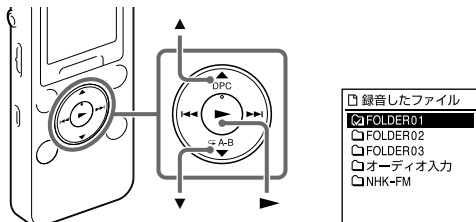
- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめポータブルラジオレコーダーの時計を合わせる必要があります（76ページ）。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。

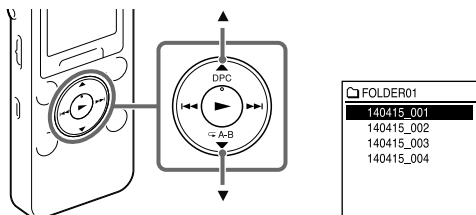
ラジオ録音以外のファイルを再生する

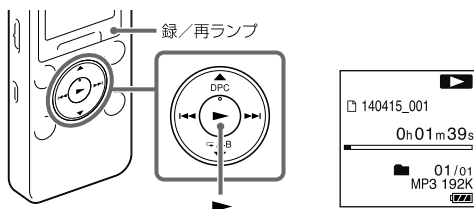
ファイルを選んで再生する

ホームメニューから再生、編集するファイルを選べます。

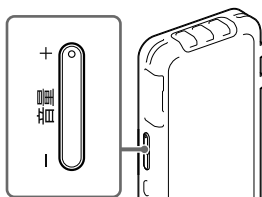
1 ホームメニューで「◎（ポッドキャスト）」、「♫（ミュージック）」、「🗋（録音したファイル）」のいずれかを選び、► ボタンを押す。

2 フォルダを選ぶ。

▲ または ▼ を押してフォルダを選び、►ボタンを押します。

3 ファイルを選ぶ。

ファイル選択画面が表示されているときは、▲ または ▼ を押して、ファイルを選びます。

4 ► ボタンを押す。

再生が始まり、録／再ランプが緑色に点灯します。

5 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

ヒント

再生中、または再生停止中は、⏮ または ⏭ を押してファイルを切り換えることができます。

録音した直後に再生する

録音を停止したあとに、録音停止画面で ► ボタンを押すと、直前に録音したファイルを再生できます。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	► ボタンを押す。 もう一度 ► ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルを繰り返し再生する	► ボタンを長押しする。 「⟲1」が表示され、現在のファイルが繰り返し再生されます。 もう一度 ► ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。
今聞いているファイルの先頭に戻る	⏮ を短く1回押す。*[1]
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	⏮ を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*[2]）
次のファイルに進む	⏭ を短く1回押す。*[1]
さらに次のファイルに進む	⏭ を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*[2]）

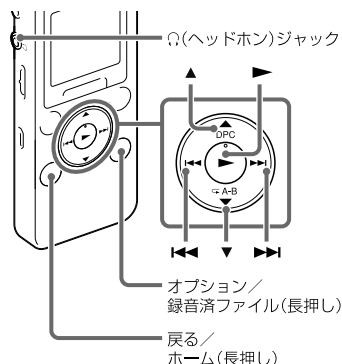
*[1] トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（70ページ）。

*[2] トラックマークには止まりません。

ヒント

オプション／録音済ファイルボタンを長押しすると、ホームメニューの「🗋（録音したファイル）」のフォルダリストが表示されます。
最後に録音したファイルを再生するときなどに便利です。

いろいろな再生設定

より便利な再生方法

付属のヘッドホンで聞く

付属のステレオヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつないでください。
ポータブルラジオレコーダーのスピーカーからは音が出なくなります。

スピーカークレードルで聞く

ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子を、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続してください。
スピーカークレードルから音声が出力され、ポータブルラジオレコーダーから音が出なくなります。

ヒント

再生音の出力先(ヘッドホンまたはスピーカー)をメニューで変更することができます。

ホームメニュー →「 (各種設定)」→「共通設定」→「スピーカー出力設定」で表示された画面で設定してください。

聞きたいところをすばやく探すには — イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。
また、早送り／早戻しの間隔を設定することで、会議録音など長時間録音したものでも、聞きたいところをすばやく探すことができます。

1 再生停止中に、オプションメニュー →「イージーサーチ」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して「オン」を選び、► ボタンを押す。

オン	再生中、►►I を押すと、設定した間隔進み、I◄◄ を押すと、設定した間隔戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
オフ*	イージーサーチ機能を無効にします。►►I または I◄◄ を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。
間隔設定	イージーサーチ送り、戻しの間隔を設定します。 • イージーサーチ送り：►►I を押したときに進む間隔を、5秒、10秒*、30秒、1分、5分、10分から選びます。 • イージーサーチ戻し：I◄◄ を押したときに戻る間隔を、1秒、3秒*、5秒、10秒、30秒、1分、5分、10分から選びます。

* お買い上げ時の設定

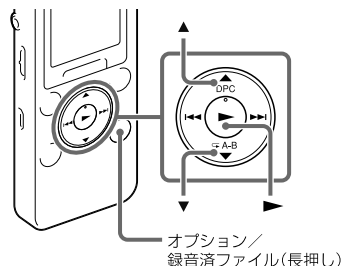
再生中に早送り／早戻しするには — キュー／レビュー

- 早送り(キュー)：
  再生中に ►►I を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
  再生中に I◄◄ を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡 **最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると**

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの先頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に ⏮ を押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、⏭ を押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中に ⏮ を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの先頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

再生モードを設定する

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 停止／再生時にオプションメニュー →「再生モード」を選び、► ボタンを押す。

2 ▲ または ▼ を押して、「1」、「🗀」、「ALL」、「⟲ 1」、「⟲ 🗀」または「⟲ ALL」を選び、► ボタンを押す。

1	1件ファイルを再生する。
🗀*	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
⟲1	1件ファイルをリピート再生する。
⟲🗀	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
⟲ ALL	全ファイルをリピート再生する。

* お買い上げ時の設定は、「🗀」になっています。

💡 **ヒント**

再生中に ► ボタンを1秒以上押すと、メニューで設定しなくても、1ファイルをリピート再生できます。

録音したファイルを再生する

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に▼ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

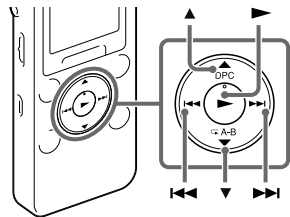
2 もう一度▼ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「A-B」が表示されて、指定した範囲が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには
もう一度▼ A-Bボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには
■ 停止ボタンを押します。
A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。
► 再生ボタンを押すと、A-Bリピート再生が開始します。
もう一度■ 停止ボタンを押すと、A-Bリピート設定が解除されます。

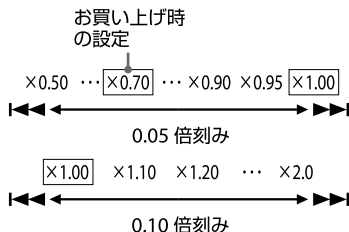
A-Bリピートの範囲を変えるには
A-Bリピート再生中にもう一度▼ A-Bボタンを押すと、通常の再生に戻ります。もう一度手順1と2を行ってください。

ご注意
A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

再生速度を調節する — DPC（Digital Pitch Control）

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。再生速度を変えても、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生されます。

1 再生停止中／再生中に▲ボタンを押す。
DPC（速度調節）画面が表示されます。

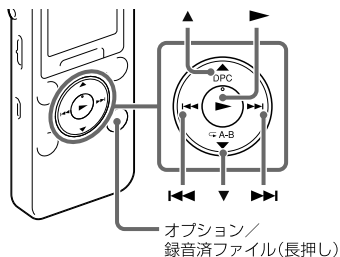
2 ▲または▼を押して「オン」を選ぶ。

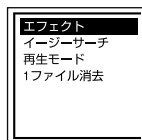
3 ⏮ または ⏭ を押して、再生速度を調節する。

ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「x0.70」に設定されています。

4 ► を押して、再生速度を決定する。

通常の再生速度に戻すには
DPC（速度調節）画面で「オフ」を選びます。

ご注意
LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。

音質を切り換える（エフェクト）

音楽ファイルやポッドキャストファイルを再生するときに、再生する音楽に合わせた効果を設定します。

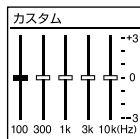
1 ミュージックまたはポッドキャストの再生停止中または再生中に、オプションメニュー →「エフェクト」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して、お好みの音質を選び、► ボタンを押す。

オフ*	エフェクト機能を無効にします。
ポップス P	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック R	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ J	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1 BA1	低音が強調されます。
ベース2 BA2	低音が更に強調されます。
カスタム C	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。

* お買い上げ時の設定

自分好みの音質に設定するには

1 「音質を切り換える（エフェクト）」の手順2で「カスタム」を選び、► ボタンを押す。

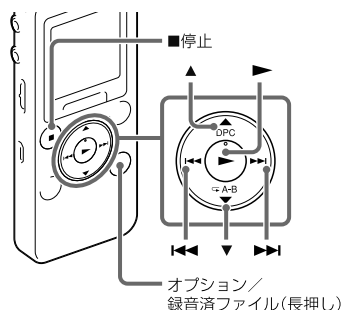
カスタム設定画面が表示されます。

2 ⏮ または ⏭ を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、▲ または ▼ を押してレベルを調節する。

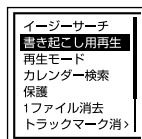
−3 ～＋3の7段階に設定できます。

3 ► ボタンを押す。

ご注意

- エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストファイルの再生時のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
- エフェクト機能は、ヘッドホン使用時のみ有効です。ただし、ラジオ受信中はエフェクト機能は働きません。

録音を書き起こす(書き起こし用再生)

録音した1つのファイルを早送り/早戻ししながら聞きたい箇所を探したり、DPC(デジタルピッチコントロール)で速度調節しながら再生できます。議事録等を書き起こすときに便利なモードです。

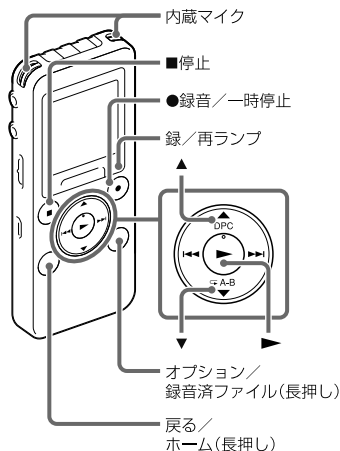
1 再生停止中に、オプションメニュー → 「書き起こし用再生」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ► ボタンを押して再生を開始する。

書き起こし用再生中は次の機能を使用して、再生音を調節できます。

- DPC：再生速度を変更して聞き取りやすくできます。▲を押すと、DPC(速度調節)画面が表示されます。▲または▼を押して「オン」を選び、|◄◄ / ►►| を押して速度を調節し、► ボタンを押して決定します。
- イージーサーチ：|◄◄ / ►►| を押して聞きたいところをすばやく探すことができます。
- キュー・レビュー：|◄◄ / ►►| を押したままにして早戻し/早送りし、聞きたいところを探すことができます。

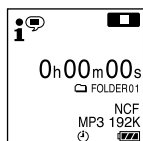
ご注意
- スリープタイマーの設定時間が経過すると、書き起こし用再生中でも電源が切れスリープモードに入ります。
- 書き起こし用再生中は次の機能が働きません。
  - 再生モード
  - 分割
  - A-B リピート

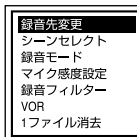
ヒント
- 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。
- 書き起こし用再生モードを終了するには、再生停止中にオプションメニュー → 「書き起こし終了」を選びます。
- 違うファイルを聞きたいときは、戻る／ホームボタンを押してファイル一覧を表示させて、聞きたいファイルを選んでください。

マイク録音を始める

ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（56ページ）をしながら録音することをおすすめします。

1 ホームメニュー →「(マイク録音)」を選び、► ボタンを押して決定する。

録音停止画面が表示されます。

2 録音したいフォルダを選ぶ。

①オプションメニュー→「録音先変更」を選び、► ボタンを押して決定する。

②▲ または ▼ を押してフォルダを選び、► ボタンを押す。

お買い上げ時には、「FOLDER01」が選択されています。

3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

4 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録／再ランプが赤色に点灯します。
新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。

ご注意

録音中、ポータブルラジオレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。

録音を止める

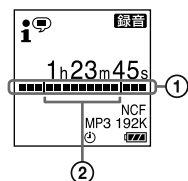
1 ■ 停止ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」と表示され、録音停止画面に戻ります。
録音停止後に ► ボタンを押すと、今録音したファイルを再生できます。

アクセス中のご注意

画面上に「しばらくお待ちください」と表示されている間は、メモリーへ録音データを記録しています。この表示が出ている間は、スピーカークレードルへの抜き差しをしないでください。データが破損するおそれがあります。

録音レベルガイドについて

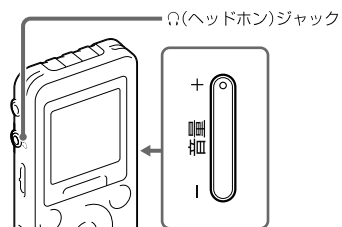
録音中は、録音レベルガイド(①)に入力レベルが表示されます。

縦線で囲まれた区間(②)は、入力レベルの適正範囲を表示します。

■■■|■■■■■■■■■■|

上の図のように、録音中の入力レベルが、縦線で囲まれた区間に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

ヒント

入力レベルの縦線で囲まれた区間に表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動するか、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする

付属のステレオヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターできます。

ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量−/+ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

その他の操作

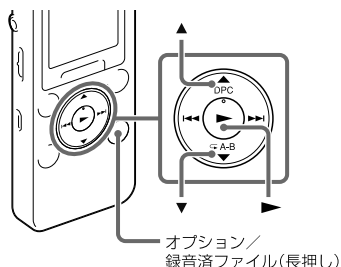
録音を一時停止する*	● 録音/一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録/再ランプが赤色に点滅し、●II (録音一時停止)表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音/一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音できます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。)
今録音したばかりのファイルを聞く	►ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し(レビュー)再生する	録音中または録音一時停止中に⏮を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。⏮を離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

ヒント

Sound Organizerを使うと、フォルダを新規作成したり、消去できます(「Sound Organizerを使う」(別冊))。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（58ページ）やマイク感度（59ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます（シーンセレクト機能）。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

ご注意

登録されているシーンは、すべての環境に対応しているわけではありません。
環境に合ったシーンがない場合は、「Myシーン1」や「Myシーン2」をご使用ください。

1 録音停止中にオプションメニュー →「シーンセレクト」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して、お好みのシーンを選び、► ボタンを押す。

オフ	シーンセレクト機能をオフにします。
（おまかせボイス）*	音声全般を録音するときに適しています。
（会議）	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
（講演）	講演会や講義を録音するときに適しています。
（ボイスメモ）	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
（インタビュー）	インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
（歌・音楽）	大人数での合唱練習やカラオケなど比較的大きな音を2 ～ 3 mくらいの距離で録音するときに適しています。
（Myシーン1）	録音モード、内蔵マイク感度などをお好みに合わせて編集できます。
（Myシーン2）	録音モード、内蔵マイク感度などをお好みに合わせて編集できます。

* お買い上げ時の設定

各シーンのお買い上げ時の録音設定について

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは58 ～ 60ページをご覧ください。

	（おまかせボイス）	（会議）	（講演）	（ボイスメモ）
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps
マイク感度設定	音声用 A オート	音声用 中	音声用 中	音声用 低
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)

* お買い上げ時の設定

	(インタビュー)	(歌・音楽)	(My シーン1)*	(My シーン2)*
録音モード	MP3 128kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度設定	音声用 中	音楽用 低(音楽)	音声用 中	音声用 中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	オフ	オフ	オフ

* お買い上げ時の設定

Myシーンの設定項目をお好みに編集する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。
録音停止中に以下の手順を行います。

1 オプション/録音済ファイルボタンを押してオプションメニューを表示し、録音に関する項目を設定する。
設定できるのは以下の項目です。
録音モード／マイク感度設定／録音フィルター／ VOR

2 オプションメニュー →「シーンセレクト」→「Myシーン1」または「Myシーン2」を選ぶ。

3 ▲ または ▼ を押して、「登録」を選び、► ボタンを押す。
「現在の録音設定を登録しますか？」と表示されます。

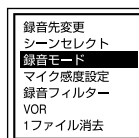
4 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。
現在の録音設定が登録されます。

ヒント
「Myシーン1」または「Myシーン2」の設定値は、各種設定メニューの「設定初期化」を実行するとお買い上げ時の設定に戻ります。

個別の録音設定項目を変更する

録音するファイルの録音モード（音質など）、マイク感度、録音フィルターを設定できます。
録音を始める前に設定します。

ご注意
個別の項目を設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。

1 録音停止中にオプション/録音済ファイルボタンを押してオプションメニューを表示する。

2 ▲ または ▼ を押して、変更したい項目を選び、► ボタンを押す。
設定を変更します。

録音モード設定

LPCM 44.1kHz/16bit	非圧縮ステレオ高音質録音
MP3 192kbps*	ステレオ標準録音
MP3 128kbps	ステレオ長時間録音
MP3 48kbps(MONO)	モノラル標準録音

* お買い上げ時の設定

ご注意
ラジオ放送、オーディオ入力は、LPCMで録音できません。

マイク感度設定

音声用マイクのマイク感度を設定します。

オート*	録音レベルが適切になるように、マイク感度は自動的に設定されます。
高	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
中	会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
低	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。

* お買い上げ時の設定

音楽用

高(音楽)	少人数でのコーラスや小さい音、楽器から離れた場所での録音に適しています。
低(音楽)*	大きな音のバンド練習やカラオケなどの録音に適しています。

* お買い上げ時の設定

録音フィルター

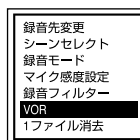
録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

オフ	録音フィルターを解除します。
NCF(Noise Cut)*	音声以外の周波数の音をカットし、軽減できます。
LCF(Low Cut)	低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。

* お買い上げ時の設定

音がしたとき自動録音する －VOR（Voice Operated Recording）録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように設定できます。（VOR録音）

1 録音停止中または録音／一時停止中にオプションメニュー → 「VOR」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► ボタンを押す。

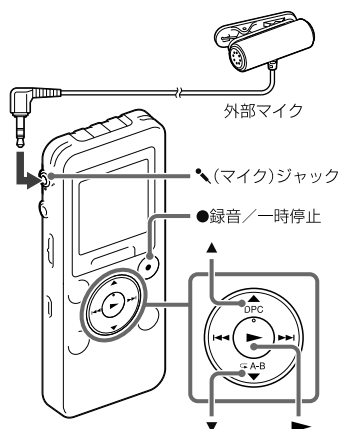
お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音 ／ VOR が表示されます。
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、●II ／ VOR が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

外部マイクをつないで録音する

1 停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

オーディオ入力*	マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。
外部マイク	マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。

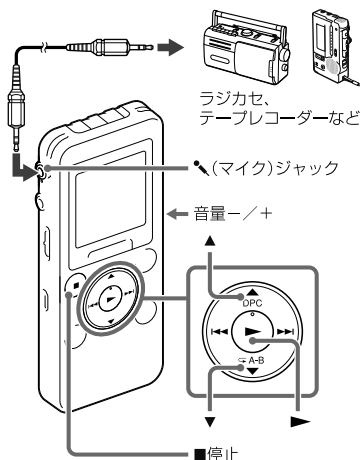
* お買い上げ時の設定

2 ▲または▼を押して、「外部マイク」を選び、► ボタンを押す。

3 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、ポータブルラジオレコーダーのマイク感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源はポータブルラジオレコーダーから供給されます。

4 録音を止めるには■停止ボタンを押す。

他の機器からの音声を聞く

(マイク)ジャックにつないだ再生機器からの音声を聞くことができます。

ヒント

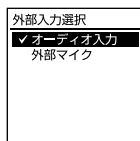
他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(65ページ)を使って、ポータブルラジオレコーダーの(マイク)ジャックにつなぎます。

1 再生機器をポータブルラジオレコーダーの(マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

オーディオ入力*	マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。
外部マイク	マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

2 ▲または▼を押して、「オーディオ入力」を選び、► ボタンを押す。

「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。

オーディオ入力音声を再生する場合は「いいえ」を選んでください。オーディオ入力音声を録音する場合は、録音状況に合わせてシンクロ録音機能を使うか使わないかを選ぶことができます(63ページ)。

3 ▲または▼を押して「いいえ」を選び、► ボタンを押す。

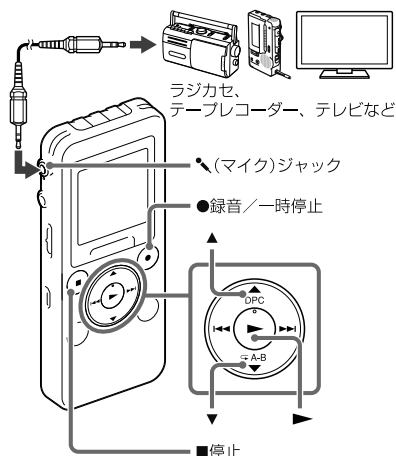
4 (マイク)ジャックにつないだ機器の再生を開始する。

5 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

6 再生を止めるには ■ 停止ボタンを押す。

ヒント

お気に入りラジオ局ボタン、または戻る／ホームボタンを押すと、電源を切らずに、オーディオ入力以外のモードに切り換えることができます。

他の機器の音声を録音する

ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声／音楽をポータブルラジオレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成できます。

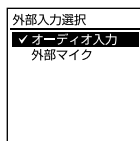
ヒント

- 他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(65ページ)を使って、ポータブルラジオレコーダーの (マイク)ジャックにつなぎます。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、ポータブルラジオレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。

1 停止中に他の機器をポータブルラジオレコーダーの (マイク)ジャックにつなぐ。
画面に「外部入力選択」が表示されます。

2 ▲または▼を押して、「オーディオ入力」を選び、► ボタンを押す。

「シンクロ録音機能を使って録音しますか？」と表示されます。
オーディオ入力音声を再生する場合は「いいえ」を選んでください。オーディオ入力音声を録音する場合は、録音状況に合わせてシンクロ録音機能を使うか使わないかを選ぶことができます。

3 ▲または▼を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。
 ／ **SYNC** が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

5 つないだ機器で再生を始める。
録音 ／ **SYNC** が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、 ／ **SYNC** が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときは、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順3で「いいえ」を選び、手順4、5に従ってつないだ機器から録音を行います。
手順4で、● 録音／一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

ヒント
録音を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。

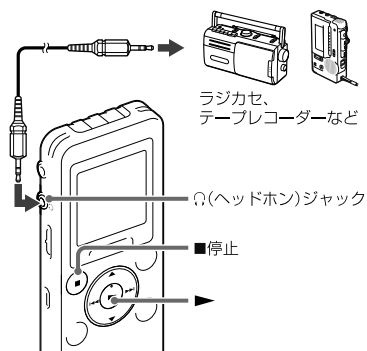
他の機器に音声を録音する

ポータブルラジオレコーダーにつないだ他の機器でポータブルラジオレコーダーの音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから録音することをおすすめします。

1 ポータブルラジオレコーダーの (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、別売の ソニー製オーディオコ ードを使ってつなぐ。

2 ポータブルラジオレコーダーの ► ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

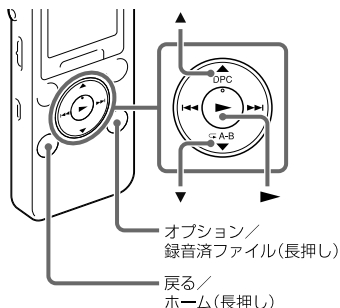
ポータブルラジオレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、ポータブルラジオレコーダーの ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

お使いになれるオーディオコード(別売)

他の機器のアナログ音声端子に接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

	ポータブルラジオレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ(抵抗なし)

ファイルを消去する

ご注意

- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護されているファイルは、消去できません。保護を解除してから操作してください。

1 ホームメニューで「◎（ポッドキャスト）」、「♫（ミュージック）」、「🗋（録音したファイル）」のいずれかを選び、► ボタンを押す。

2 ▲または▼を押して、消去したいファイルの入っているフォルダを選び、► ボタンを押す。

3 ▲または▼を押して、消去したいファイルを選び、► ボタンを押す。

4 オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選び、► ボタンを押す。

「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

5 ▲または▼を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

途中で消去をやめるには

手順5で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

また、ファイル一覧で消去したいファイルにカーソルを移動し、オプションメニュー → 「1ファイル消去」を選んで消去することもできます。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割（73ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順4から手順5の操作をします。

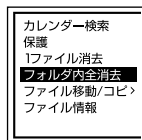
フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

- 一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護されているファイルは、消去できません。保護を解除してから操作してください。

1 「ファイルを消去する」の手順1～2を行い、ファイルを消去したいフォルダを選ぶ。

選択したフォルダのファイル一覧が表示されます。

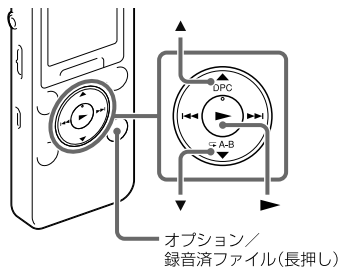
2 オプションメニュー → 「フォルダ内全消去」を選び、► ボタンを押して決定する。

「フォルダ内のファイルを全て消去しますか？」と表示されます。

3 ▲または▼を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。

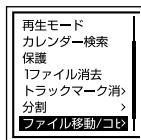
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

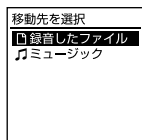
途中で消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

ファイルを別のフォルダに移動する

1 「ファイルを消去する」（66ページ）の手順1 ～ 3を行い、移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止中にオプションメニュー →「ファイル移動/コピー」を選び、► ボタンを押す。

再生モード
カレンダー検索
保護
1ファイル消去
トラックマーク消
分割
ファイル移動/コピ

3 ▲または▼を押して「内蔵メモリーへ移動」または「メモリーカードへ移動」を選び、► ボタンを押す。

4 ▲または▼を押して、移動先を「録音したファイル」または「ミュージック」から選び、► ボタンを押す。

5 ▲または▼を押して、移動先のフォルダを選び、► ボタンを押す。

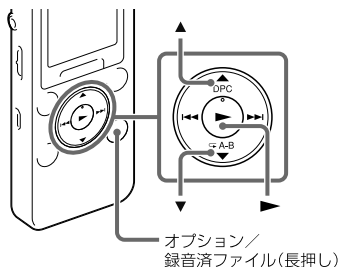
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

途中でファイルの移動をやめるには

手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

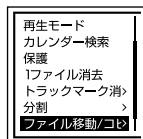
ご注意

- ポッドキャストファイルは移動できません。
- 保護されているファイルは移動できません。
- メモリー残量が少ないとファイルを移動できない場合があります。あらかじめメモリーに充分な空き容量があることを確認してください。

ファイルをコピーする

内蔵メモリー同士、またはメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。
操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 「ファイルを消去する」（66ページ）の手順1 ～ 3を行い、コピーしたいファイルを選ぶ。

2 停止中にオプションメニュー → 「ファイル移動/コピー」を選び、► ボタンを押す。

再生モード
カレンダー検索
保護
1ファイル消去
トラックマーク消›
分割 ›
ファイル移動/コピ›

3 ▲ または ▼ を押して「内蔵メモリーへコピー」または「メモリーカードへコピー」を選び、► ボタンを押す。

4 ▲ または ▼ を押して、コピー先を「🗋 録音したファイル」または「♫ ミュージック」から選び、► ボタンを押す。

5 ▲ または ▼ を押して、コピー先のフォルダを選び、► ボタンを押す。
「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

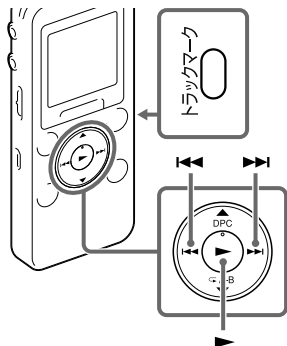
コピーを中止するには

手順5で「しばらくお待ちください」と表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

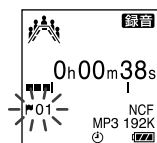
ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ないと、ファイルコピーができない場合があります。
- ポッドキャストファイルはコピーできません。
- コピーの途中でメモリーカードを抜き差ししたり、電源を切ったりしないでください。ファイルが破損する恐れがあります。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

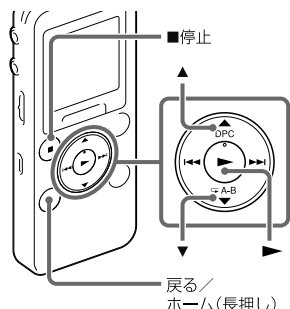
1 録音／再生／一時停止中に、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

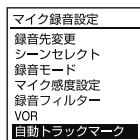
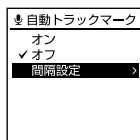
停止中に⏮ または ⏭ を押します。
(トラックマーク)表示が1回点滅したら、► ボタンを押します。

ご注意

- トラックマークを設定できるのはソニー製のポータブルラジオレコーダーおよびICレコーダーで録音したファイルのみです。ただし、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、トラックマークが設定できなくなる場合があります。
- 保護されているファイルには、トラックマークが付けられません。保護を解除してから操作してください(75ページ)。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルには、トラックマークが付けられません。
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

自動でトラックマークを付ける

録音中に、一定の間隔で自動的にトラックマークを付けることができます。長い録音を後から検索する場合などに便利です。

1 ホームメニュー → 「🧰（各種設定）」→ 録音する音源にあわせて「ラジオ設定」、「マイク録音設定」、または「オーディオ入力設定」→「自動トラックマーク」を選び、► ボタンを押す。

マイク録音設定
録音先変更
シーンセレクト
録音モード
マイク感度設定
録音フィルター
VOR
自動トラックマーク

2 ▲ または ▼ を押して、「間隔設定」を選び、► ボタンを押す。

3 ▲ または ▼ を押して、トラックマークを付ける間隔を選び、► ボタンを押す。

お買い上げ時は、「5分」設定になっています。

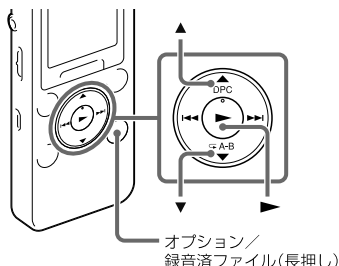
4 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、設定を終了する。

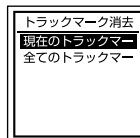
録音を開始すると、設定した間隔で自動的にトラックマークが付けられます。

自動トラックマークをやめるには

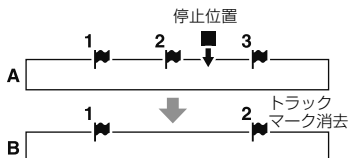
手順2で「オフ」を選び、► ボタンを押します。

トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置のあとで停止する。

2 停止中にオプションメニュー →「トラックマーク消去」を選び、► ボタンを押す。

3 ▲ または ▼ を押して「現在のトラックマーク」を選び、► ボタンを押す。

「トラックマークを消去しますか？」と表示されます。

4 ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークが消去されます。

A：トラックマーク消去前：■ は停止位置
B：トラックマーク消去後：停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

消去をやめるには

手順4で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

ご注意

- 保護されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護を解除してから操作してください(75ページ)。
- 録音停止画面では、トラックマークを消去できません。ホームメニューからトラックマークを消去したいファイルを選んでください。

すべてのトラックマークを消去する

1 「ファイルを消去する」(66ページ)の手順1 ～ 3を行い、トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 オプションメニュー →「トラックマーク消去」→「全てのトラックマーク」を選び、► ボタンを押す。

「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

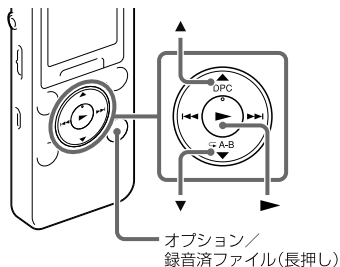
3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

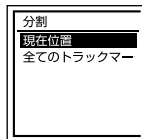
消去をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

ファイルを分割する

現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、新しいファイル番号を付けることができます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せて便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 オプションメニュー →「分割」→「現在位置」を選び、► ボタンを押す。

「現在の停止位置で分割しますか？」と表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

A	ファイル1	ファイル2		ファイル3
		▲ ファイル分割		
B	ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

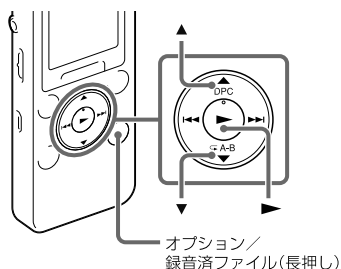
A：分割前：▲ は分割位置
B：分割後：分割したファイル名の末尾に連番（「_1」、「_2」）が付く。

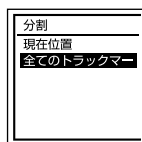
分割をやめるには

手順3で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。

ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した前後のファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンからコピーしたファイル）は分割できません。また、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

すべてのトラックマーク位置で分割する

1 「ファイルを消去する」（66ページ）の手順1 ～ 3を行い、すべてのトラックマークで分割したいファイルを選ぶ。

2 停止中にオプションメニュー → 「分割」→「全てのトラックマーク位置」を選び、► ボタンを押す。

「全てのトラックマークで分割しますか？」と表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、「はい」を選び、► ボタンを押す。

「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークの位置でファイルが分割され、トラックマークは消去されます。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 ～）が振られます。

A ファイル1

トラックマーク全分割

B ファイル1_01 ファイル1_02 ファイル1_03

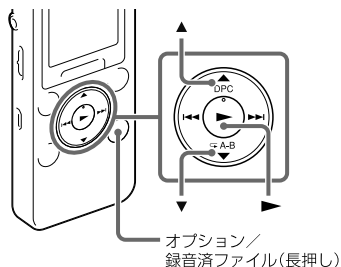
A：分割前：⚑ はトラックマーク位置
B：分割後：トラックマーク位置でファイルが分割され、分割されたファイル名の末尾に連番（「_01」、「_02」）が付く

途中で分割をやめるには

- 手順3で「いいえ」を選び、► ボタンを押します。
- 分割中に中止するには、手順3で「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されているときに、戻る／ホームボタンを押し、「はい」を選びます。

ご注意

- 保護されているファイルは、分割できません。保護を解除してから操作してください（75ページ）。
- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割したすべてのファイルで同じになります。
- ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンからコピーしたファイル）は分割できません。また、アプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルはもとに戻せません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、🔒（保護）マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 「ファイルを消去する」（66ページ）の手順1 ～ 3を行い、保護したいファイルを選ぶ。

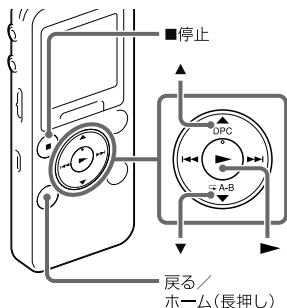
2 停止中にオプションメニュー → 「保護」を選び、► ボタンを押して決定する。
「保護しました」が表示され、ファイルが保護されます。保護されたファイルには🔒（保護）マークが表示されます。

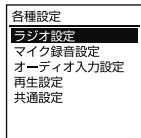
保護を解除するには

保護されたファイルを選び、手順2で「保護解除」を選びます。

ご注意

ポッドキャストファイルは保護できません。

各種設定メニューの使いかた

1 ホームメニュー →「 (各種設定)」を選び、► ボタンを押して決定する。

各種設定メニュー画面が表示されます。

2 ▲ または ▼ を押して変更したい設定メニューを選び、► ボタンを押して決定する。

3 ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、► ボタンを押す。

4 ▲ または ▼ を押して設定内容を選び、► ボタンを押して決定する。

5 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、各種設定メニューが自動的に終了します。

1つ前の画面に戻るには

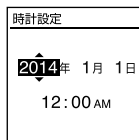
メニュー操作中に戻る／ホームボタンを押します。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

時刻を手動で設定する場合

1 ホームメニュー →「 (各種設定)」→「共通設定」→「時計設定」を選び、► ボタンを押して決定する。

時計設定画面が表示されます。

2 年月日と時分を合わせる。

▲ または ▼ を押して、年の数字（西暦）を選び、► ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
戻る／ホームボタンを押すと、カーソルが1つ前の項目に戻ります。
「分」の数字を選び、► ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

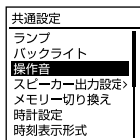
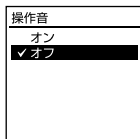
■ 停止ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

ご注意
それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされます。

ヒント
現在時刻は、戻る／ホームボタンを長押ししてホームメニューを表示させた際、画面の左下に表示されます。

メニューを使って操作音を設定する

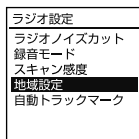
操作音が鳴らないように設定することができます。

1 ホームメニュー →「(各種設定)」→「共通設定」→「操作音」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押して、「オン」または「オフ」を選び、► ボタンを押す。

お買い上げ時は「オン」に設定されています。

3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

メニューを使って現在いる地域を設定するには

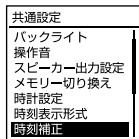
ラジオをお聞きになる地域が変更になった場合は、現在いる地域を設定し、ラジオの放送局を自動でプリセット登録することができます。

1 ホームメニュー →「(各種設定)」→「ラジオ設定」→「地域設定」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲ または ▼ を押してお好みの地域を選び、► ボタンを押して決定する。
プリセットの上書きを確認するメッセージが表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して「はい」を選び、► ボタンを押す。

メニューを使って時刻補正を設定するには

ラジオ受信中、オーディオ入力再生中または停止中にメニューを使って、時刻補正の設定を変更することができます。
ここではラジオ受信中の画面を例に説明します。

1 ホームメニュー →「(各種設定)」→「共通設定」→「時刻補正」を選び、► ボタンを押して決定する。

2 ▲または▼を押して、「オフ」、「対応ソフトと同期」または「自動時刻補正」を選び、► ボタンを押して決定する。

メッセージが表示され、時計補正方法が設定されます。

「オフ」を選んだ場合：

「時計設定」画面で、手動で時計合わせを行ってください。

「対応ソフトと同期」を選んだ場合：

ポータブルラジオレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に補正されます。

「自動時刻補正」を選んだ場合：

AMラジオのP01に登録したNHK第1放送またはNHK第2放送の時報を利用して、時刻が自動的に補正されます。「最終補正日」欄には、自動時刻補正を行った最終日が表示されます。

ご注意

AMラジオが受信できない場合は、時刻が補正されません。
「最終補正日」欄にも表示できません。
AMラジオのNHK第1放送または第2放送が受信できることを確認してからご使用ください。

3 戻る／ホームボタンを長押しして、ホームメニューに戻る。

各種設定項目一覧

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ラジオ設定	ラジオノイズカット	36
	録音モード	58
	スキャン感度	36
	地域設定	16、77
	自動トラックマーク	70
マイク録音設定	録音先変更	55
	シーンセレクト	57
	録音モード	58
	マイク感度設定	59
	録音フィルター	59
	VOR	60
	自動トラックマーク	70
オーディオ入力設定	録音先変更	55
	録音モード	58
	シンクロ録音	63
	自動トラックマーク	70
再生設定	エフェクト	53
	イージーサーチ	50
	再生モード	51
共通設定	ランプ	79
	バックライト	79
	操作音	79
	スピーカー出力設定	80
	メモリー切り換え	22、80
	時計設定	76
	時刻表示形式	80
	時刻補正	80
	オートパワーオフ	80
	設定初期化	80
	メモリー初期化	80
	録音可能時間	81
	本体情報	81

共通設定項目詳細

ランプ

録／再ランプの点灯、消灯を設定します。

オン*	動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。
オフ	動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。

* お買い上げ時の設定

ご注意

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。

バックライト

画面表示時の画面のバックライトの設定をします。

オン*	画面表示後約20秒間バックライトが点灯します。20秒以内に次の操作をしないと、バックライトは消灯します。
オフ	バックライトが点灯しません。

* お買い上げ時の設定

操作音

確認音を設定します。

オン*	操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。
オフ	操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。

* お買い上げ時の設定

スピーカー出力設定

ポータブルラジオレコーダー（本体）のみで使用する場合と、スピーカークレードルに載せて使用する場合のスピーカーを設定します。

本体使用時	**自動（ヘッドホン優先）*：**ヘッドホンが接続されている場合はヘッドホンから、ヘッドホンが接続されていない場合はポータブルラジオレコーダーのスピーカーから音声が出力されます。 **スピーカー固定：**ヘッドホンの接続に関わらず、常にポータブルラジオレコーダーのスピーカーから音声が出力されます。
クレードル使用時	**自動（ヘッドホン優先）：**ヘッドホンが接続されている場合はヘッドホンから、ヘッドホンが接続されていない場合はスピーカークレードルのスピーカーから音声が出力されます。 **スピーカー固定*：**ヘッドホンの接続に関わらず、常にスピーカークレードルのスピーカーから音声が出力されます。

* お買い上げ時の設定

メモリー切り換え

録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。

内蔵メモリー*	内蔵メモリーを使用します。
メモリーカード	ポータブルラジオレーコーダーのメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。

* お買い上げ時の設定

ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間*	12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午
24時間	0：00＝真夜中、12：00＝正午

* お買い上げ時の設定

時刻補正

時刻補正を設定できます。

オフ	時刻補正を行いません。
対応ソフトと同期	Sound Organizerソフトに接続したときに、コンピューターに設定された時刻に合わせて補正します。
自動時刻補正*	時報による時刻補正を行います。

* お買い上げ時の設定

オートパワーオフ

録音、再生、ラジオ受信、オーディオ入力などを行っていない状況で時間がたつと、自動的に電源が切れます。

オフ	電源は自動的に切れません。
5分	約5分後に電源が切れます。
10分*	約10分後に電源が切れます。
30分	約30分後に電源が切れます。
60分	約60分後に電源が切れます。

* お買い上げ時の設定

設定初期化

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。
いいえ	初期化しません。

ご注意

録音予約の一覧、オンタイマー、ラジオのプリセット、お気に入りボタン設定、保護、メモリー切り換え、時計設定、地域設定、放送局名変更については初期化されません。

メモリー初期化

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

はい	「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示され、初期化します。
いいえ	初期化しません。

ご注意

- ポータブルラジオレーコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずポータブルラジオレーコーダーで行ってください。
- メモリーの初期化をすると、メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。（保護したファイルやSound Organizerも消去されます。）一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

録音可能時間

現在の録音設定における録音可能な残り時間を確認できます。録音可能な残り時間を時間、分、秒で表示します。

本体情報

本体の型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。ユーザー名はSound Organizerで設定できます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。

オプションメニュー項目一覧

各ホームメニューでオプション／録音済ファイルボタンを押した際に表示されるオプションメニューの一覧です。

録音したファイル

オプションメニュー名	参照ページ
イージーサーチ	50
イージーサーチ間隔設定	50
書き起こし用再生	54
書き起こし終了	54
再生モード	51
カレンダー検索	45
保護	75
保護解除	75
1ファイル消去	66
フォルダ内全消去	67
トラックマーク消去	71
分割	73
ファイル移動/コピー	68、69
ファイル情報	44

マイク録音

オプションメニュー名	参照ページ
録音先変更	55
シーンセレクト	57
録音モード	58
マイク感度設定	59
録音フィルター	59
VOR	60
1ファイル消去	66

ミュージック

オプションメニュー名	参照ページ
エフェクト	53
イージーサーチ	50
イージーサーチ間隔設定	50
書き起こし用再生	54
書き起こし終了	54
再生モード	51
保護	75
保護解除	75
1ファイル消去	66
フォルダ内全消去	67
ファイル移動/コピー	68、69
ファイル情報	44

ポッドキャスト

オプションメニュー名	参照ページ
エフェクト	53
イージーサーチ	50
イージーサーチ間隔設定	50
書き起こし用再生	54
書き起こし終了	54
再生モード	51
1ファイル消去	66
フォルダ内全消去	67
ファイル情報	44

FMラジオ

オプションメニュー名	参照ページ
ラジオノイズカット	36
録音モード	58
お気に入りに登録	28
プリセットに登録	31
プリセットを解除	31
オートプリセット	30
地域設定	16, 77
放送局名変更	32

AMラジオ

オプションメニュー名	参照ページ
ラジオノイズカット	36
録音モード	58
お気に入りに登録	28
プリセットに登録	31
プリセットを解除	31
オートプリセット	30
地域設定	16, 77
放送局名変更	32

オーディオ入力

オプションメニュー名	参照ページ
録音先変更	55
録音モード	58
シンクロ録音	63

パソコンにつないで使う

ポータブルラジオレコーダーとパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルをポータブルラジオレコーダーからパソコンにコピーして保存する（「Sound Organizerを使う」（別冊））

音楽ファイルをパソコンからポータブルラジオレコーダーにコピーして再生する（「Sound Organizerを使う」（別冊））

USBメモリーとして利用する

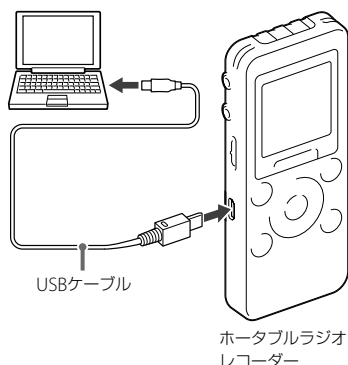
パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。詳しい説明についてはヘルプガイドをご覧ください。

Sound Organizerを使う

ソフトウェアSound Organizerを使って、ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストファイルをポータブルラジオレコーダーに転送したりできます。
詳しくは、「Sound Organizerを使う」（別冊）をご覧ください。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、90ページ、またはヘルプガイドをご覧ください。

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続する

ポータブルラジオレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続します。

1 ポータブルラジオレコーダーの ψ USB端子とパソコンのUSBポートに、付属のUSBケーブルを奥まで差し込み接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

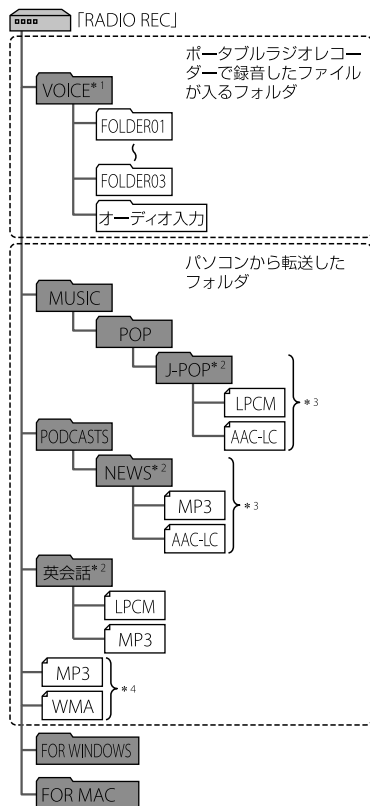
Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macでは、Finderに「RADIO REC」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

パソコン側でポータブルラジオレコーダーが認識されると、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間はポータブルラジオレコーダーの表示窓に「接続中　予約は実行されません」が表示されます。

ご注意
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSBケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は、タイマー設定時刻になってもタイマーは作動しません。タイマー設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずしてください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、ポータブルラジオレコーダーははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。
WindowsではエクスプローラをMacではFinderを使って、「RADIO REC」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合

*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、ポータブルラジオレコーダーでは認識されず、「録音したファイル」内には表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダの下にあるフォルダにファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストファイルが保存されたフォルダ名はポータブルラジオレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
（図は、フォルダ名称の例です。）

*3 音楽ファイルを認識できるのは、ポータブルラジオレコーダーに転送したフォルダの8階層目までです。

*4 音楽ファイルを「RADIO REC」の直下に転送すると「未分類」のファイルとして「未分類フォルダ」内に表示されます。

ヒント

- ポータブルラジオレコーダーでは、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名の情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、ポータブルラジオレコーダーでは「No Data」と表示されます。

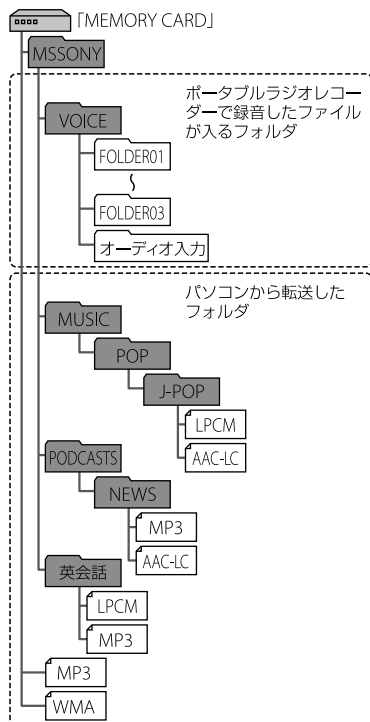
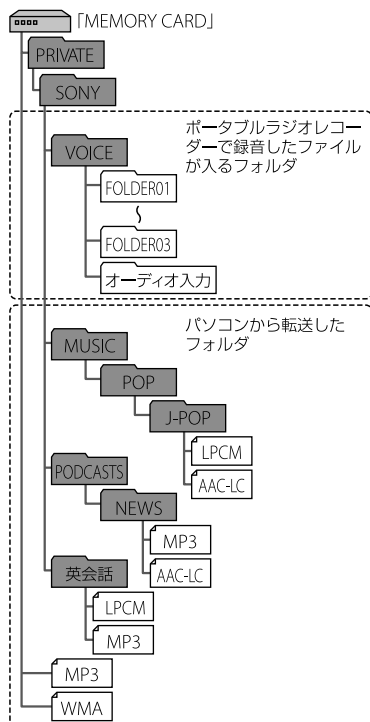
ポータブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから（22ページ）パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティック マイクロ™ (M2™) の場合

microSDカードの場合

ラジオ／外部入力録音時のフォルダ名について

「録音予約」の「録音先フォルダ」で「自動分類」を選んでいる場合（41ページ）、ラジオ／オーディオ入力の録音時にファイルの保存先として以下の名前で自動的にフォルダが作られます。

- 放送局名が取得できている場合：放送局名（例：NHK-FM）
- 放送局名が取得できていない場合：バンド（AMまたはFM）＋周波数（例：AM693kHz）
- オーディオ入力の場合：オーディオ入力

ポータブルラジオレコーダーで見たフォルダの構成

ポータブルラジオレコーダーの表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なり、ホームメニューの「(録音したファイル)」、「(ミュージック)」、「(ポッドキャスト)」にて分類されます。

ご注意

ポータブルラジオレコーダーで再生できるファイルが入っていないフォルダは、ポータブルラジオレコーダーでは表示されません。

ポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 ポータブルラジオレコーダーの録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。

次に、[RADIO RECの取り出し]（Windows 7、Windows 8、Windows 8.1）または、[USB大容量記憶装置 － ドライブを安全に取り外します]（Windows Vista）を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

Macの場合：
Finderのサイドバーに表示されている「RADIO REC」の取り外しアイコンをクリックしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 パソコンからUSBケーブルを取りはずす。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因になります。
- ポータブルラジオレコーダーをお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - ポータブルラジオレコーダーをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。
  - ポータブルラジオレコーダーにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ポータブルラジオレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などでポータブルラジオレコーダーを胸ポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにポータブルラジオレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にポータブルラジオレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ポータブルラジオレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- 初期化(フォーマット)は必ずポータブルラジオレコーダーで行ってください。パソコンなどポータブルラジオレコーダー以外の機器を用いて初期化したメモリーカードは、ポータブルラジオレコーダーでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「しばらくお待ちください」のアニメーションが表示されている間や、録／再ランプがオレンジ色に点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。

- M2™の対応表については、http://www.sony.co.jp/mstaiou/ をご覧ください。
- microSD/SDHCカードの対応表については、http://www.sony.co.jp/sdtaiou/ をご覧ください。
- MagicGate™(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。ポータブルラジオレコーダーは、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- ポータブルラジオレコーダーはパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

Sound Organizerをお使いの場合は、別冊の「Sound Organizerを使う」およびヘルプガイドをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 8.1 ／ Windows 8 ／ Windows 7（Service Pack1以降）／ Windows Vista（Service Pack2以降）
- Mac OS X（v10.5 ～ v10.9）

標準インストール（日本語版のみ）
詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。
  アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、裏表紙に記載のカスタマーサポートページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

ポータブルラジオレコーダーの仕様

容量（ユーザー使用可能領域）[*1]
8 GB（約7.20 GB = 7,730,941,132 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

[*1] ポータブルラジオレコーダーで内蔵メモリーの初期化をした場合。

最大フォルダ数（1ドライブ内）
400フォルダ

最大ファイル数（1フォルダ内）
199ファイル

最大ファイル数（1ドライブ内）
4,074ファイル（フォルダ数が21の場合）

周波数範囲

- LPCM 44.1kHz/16bit（STEREO）：
  50 Hz ～ 20,000 Hz
- MP3 192kbps（STEREO）：
  50 Hz ～ 20,000 Hz
- MP3 128kbps（STEREO）：
  50 Hz ～ 16,000 Hz
- MP3 48kbps（MONO）：50 Hz ～ 14,000 Hz

再生対応ファイルフォーマット[*2]

[*2] すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。サンプリング周波数によっては、規格外および保障外数値も含みます。

MP3[*3]

- ビットレート: 32 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
- サンプリング周波数：
  16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子：.mp3

[*3] これに加えてポータブルラジオレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。

WMA[*4]

- ビットレート：32 kbps ～ 192 kbps、可変ビットレート（VBR）対応
- サンプリング周波数: 44.1 kHz
- 拡張子：.wma

[*4] WMA Ver.9には準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。

AAC-LC[*5]

- ビットレート：16 kbps ～ 320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応

• サンプリング周波数：
11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
• 拡張子：.m4a

[*5] 著作権保護されたファイルは再生できません。

リニアPCM
• ビットレート：16 ビット
• サンプリング周波数：44.1kHz
• 拡張子：.wav

AMラジオ受信周波数
531 kHz ～ 1,629 kHz

AMアンテナ
フェライトバーアンテナ（内蔵）、ループアンテナ（付属）

FMラジオ受信周波数
76.0 MHz ～ 90.0 MHz

FMアンテナ
ステレオヘッドホンコードアンテナ、FMラジオ用アンテナ接続端子経由（外部）

スピーカー
直径16 mm

入・出力端子
- 外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応 最小入力レベル：1.0 mV
- ヘッドホン（ステレオミニジャック）
推奨負荷インピーダンス：16 Ω
- クレードル接続端子
- USB端子（USB micro-B端子） High-Speed USB対応
- カードスロット
メモリースティック マイクロ™（M2™）／microSD対応スロット

再生スピード調節（DPC）
- 2.00倍速 ～ 0.50倍速：MP3/WMA/AAC-LC
- 1.00倍速 ～ 0.50倍速：リニアPCM

実用最大出力
250 mW

電源
DC 3.7 V、内蔵リチウムイオン充電式電池

動作温度
5 ℃ ～ 35 ℃

最大外形寸法（最大突起部含まず）
約47.0 mm × 112.6 mm × 13.7 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA[*6]）

質量
約84 g（JEITA[*6]）

付属品
8ページ参照

別売アクセサリー
- エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
- オーディオコード RK-G136、RK-G139

スピーカークレードルの仕様

スピーカー
直径40 mm

入・出力端子
入力端子
• 外部AMアンテナ接続端子
• 外部FMアンテナ接続端子
• DC入力 5.0 V

入出力端子
• 本体接続端子

実用最大出力
500 mW

電源
DC 5 V、ACアダプター（付属）使用時

最大外形寸法（最大突起部含まず）
約134.0 mm × 67.5 mm × 74.0 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA[*6]）

質量
約262 g（JEITA[*6]）

[*6] 電子情報技術産業協会（JEITA）規格

ポータブルラジオレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間/再生時間

最大録音時間[*1*2]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード(録音シーン[*3])	内蔵メモリー	メモリーカード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	12時間5分	3時間	6時間	12時間5分	24時間15分	48時間40分
MP3 192kbps	89時間25分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps	134時間	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	357時間	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間

*1 連続録音の場合は、付属のACアダプターが必要になります。詳しくは下記の電池の持続時間をご確認ください。
*2 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。
*3 お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数[*4]

ビットレート	再生時間	曲数
256 kbps	67時間5分	1,006ファイル
128 kbps	134時間0分	2,010ファイル

*4 パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

内蔵充電式電池の持続時間[*5]

■ファイル再生・ラジオ受信時

	モード		スピーカー再生時[*6]	ヘッドホン再生時
録音モード	LPCM	44.1 kHz/16 bit	約6時間	約19時間
	MP3	192,128, 48 kbps	約6時間	約22時間
ラジオ受信	FMラジオ受信		約4時間	約11時間
	AMラジオ受信		約5時間	約11時間

■マイク録音・ラジオ録音時

	モード		マイク録音時	FMラジオ録音(スピーカーモニター)時	AMラジオ録音(スピーカーモニター)時	FMラジオ録音(ヘッドホンモニター)時	AMラジオ録音(ヘッドホンモニター)時
録音モード	LPCM	44.1 kHz/16 bit	約16時間	—	—	—	—
	MP3	192,128, 48 kbps	約19時間	約4時間	約5時間	約11時間	約11時間

*5 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
*6 音量レベルを29に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルラジオレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

困ったときは

「症状から調べる」(95ページ)の各項目で調べる。

パソコンを利用できる場合

- **ヘルプガイドで調べる(116ページ)**
  パソコンで"ポータブルラジオレコーダー"の操作について、説明があります。
- **ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる(116ページ)**
  インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで最新情報を調べることができます。
- **Sound Organizerのヘルプで調べる**
  Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプで調べることができます。
  詳しくは、「Sound Organizerを使う」(別冊)をご覧ください。

リセットする。
リセットすると問題が解決することがあります。

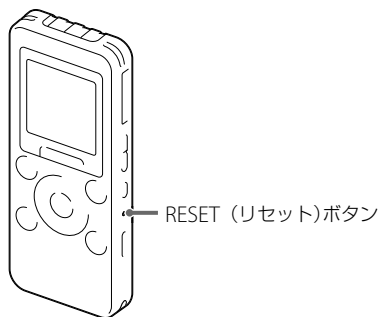
充電する。
充電すると問題が解決することがあります。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
なお、保証書とアフターサービスについては、93ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ポータブルラジオレコーダーのリセットについて

次ページからの「こんなときは」の項目をチェックしてみても解決しない場合、リセットすると、問題が解決することがあります。ピンなど先の細い棒で、RESETボタンを押してください。動作中にRESETボタンを押すと、ポータブルラジオレコーダーに保存しているデータや設定が消去される場合がありますので、画面右下にある録／再ランプが消えていることを確認してから操作してください。

こんなときは（ポータブルラジオレコーダー）

分類	症状	原因／処置
ラジオ	ラジオが受信できない。	• 地域設定が間違っています。 → 地域設定で正しい地域を選んでください（16、77ページ）。
	FMラジオの放送局を受信できない、雑音が聞こえる。	• ステレオヘッドホンをつないでいません。付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をします。 → ステレオヘッドホンを 🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぎ、コードをのばしてください。 • スピーカークレードルにFMラジオ用アンテナケーブルを接続していない。 → スピーカークレードルを使用する場合は、付属のFMラジオ用アンテナケーブルを接続し、FM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」にしてください。
	AMラジオが受信できない。	• スピーカークレードルにループアンテナを接続していません。 → スピーカークレードルを使用する場合は、付属のループアンテナを接続しAM外部アンテナ切り換えスイッチを「入」にしてください。
	ラジオ受信中、音声が小さい、または音質がよくない。	• テレビから離してお使いください。 • 電波が弱い状態です。 → 建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。

分類	症状	原因／処置
ラジオ	ラジオ受信中、雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用しています。 → 携帯電話などをポータブルラジオレコーダーから離してご使用ください。
	ACアダプターを接続したときに雑音が入る。	• 家庭用コンセントにノイズを発生する機器が接続されています。 → 離れた別のコンセントに接続してご使用ください。
	ラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。	• 室内アンテナを使用しているテレビの近くでラジオ受信中は、テレビから離してください。
	ラジオ放送がプリセット登録できない。	• ラジオ放送局が30件登録されています。 → プリセット登録を消去してください(31ページ)。 • メニューの「スキャン感度」が「低(SCAN L)」に設定されています。 → 「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にしてください(36ページ)。
	プリセット番号を選んでも、聞きたい放送局が受信できない。	• 正しいプリセット番号を選んでいません。 → 正しい放送局のプリセット番号を選んでください。 • 正しい地域を選んでいません。 → 「地域設定」で現在ラジオを使っている地域を設定してください(16、77ページ)。
	スピーカーから音が出ない。	• ヘッドホンが挿入されています。 → メニューの「スピーカー出力設定」が「自動(ヘッドホン優先)」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「スピーカー出力設定」を「スピーカー固定」にしてください。(80ページ)
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• メニューの「スピーカー出力設定」が「スピーカー固定」に設定されています。 → 「スピーカー出力設定」を「自動(ヘッドホン優先)」にしてください。(80ページ) • ヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。
ノイズ	ノイズを少なく録音したい。	• 録音フィルター機能の[NCF(Noise Cut)]または、[LCF(Low Cut)]を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます。 また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。
	ラジオのノイズを少なくしたい。	• ラジオノイズカットが「オフ」になっています。 → ラジオノイズカットを「オン」に設定してご使用ください。(36ページ)
	カサカサという音が録音されている。	• 録音したとき、ポータブルラジオレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリという音が録音されている。	• 録音中や再生中にポータブルラジオレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → ポータブルラジオレコーダーを離して録音してください。
	外部マイク(別売)で録音すると、雑音が入る。	• 外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ヘッドホンで聞くと雑音が入る。	• ヘッドホンのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。

分類	症状	原因／処置
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	• 内蔵充電式電池が消耗しています。 → 充電してください。（13ページ） • 電源がオフになっています。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が入ります（14ページ）。 • ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドしてください（23ページ）。
	電源が切れない。	• 「電源オフ」と表示されるまで、ホールド・電源スイッチを「電源」の方向へスライドさせると、電源が切れます（14ページ）。
	電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます（お買い上げ時は、設定は10分になっています）。メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（80ページ）。 • スリープタイマーが設定されています。
	電池の持続時間が短い。	• 92ページの電池の持続時間は、音量レベルを29で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 → 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間お使いにならない場合は、電源を切る（14ページ）ことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定（80ページ）時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。 → 長期間使わない場合、半年ごとに充電するようにしてください。 • 充電を始めると短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量がない状態からフル充電までは約2時間30分かかります。 • ポータブルラジオレコーダーをしばらく使用していなかった場合は、何回か充電、放電（ポータブルラジオレコーダーを動作させる）を繰り返してください。 • 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 • 内蔵充電式電池が劣化しています。 → 充電式電池は、お使いの環境にもよりますが約500回の充電が可能です。充分に充電した状態でも、使用できる時間が通常の半分ほどになったときは電池が劣化しています。 → ソニーの相談窓口にお問い合わせください。
充電	パソコンで充電できない。	• 起動していないパソコンに接続しても充電できません。また、パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。 • パソコンからポータブルラジオレコーダーをはずし、再度接続してください。 • ポータブルラジオレコーダーが対応しているシステム構成をご確認ください。
	充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	• ポータブルラジオレコーダーのUSB 端子が正しく接続されていません。 • 内蔵充電式電池が不活性化しています。 → 長期間使わないと、電池が「不活性化」という現象になることがあります。この現象は、何度か充電と放電を繰り返しながら使っているうちに、回復することがあります。
	電池残量、充電表示部にColdまたは Hot が点滅表示している。	• ポータブルラジオレコーダーの充電可能な温度範囲外になっています。周囲温度が動作温度（5℃～ 35℃）になるようにしてください。

分類	症状	原因／処置
スピーカークレードル	スピーカーから音が出ない。	• スピーカークレードルに接続されていない。 → ポータブルラジオレコーダーの底面にあるクレードル接続端子が、スピーカークレードルの本体接続端子にしっかり接続されるように設置してください。 • ヘッドホンが挿入されています。 →「スピーカー出力設定」の「クレードル使用時」の設定が、「自動（ヘッドホン優先）」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「スピーカー出力設定」の「クレードル使用時」の設定を「スピーカー固定」にしてください。（80ページ） • ACアダプターが接続されていません。 → ACアダプターを接続してください。
動作	正常に動作しない。	• 内蔵メモリーまたはメモリーカードがパソコンで初期化されています。 → ポータブルラジオレコーダーで初期化を行ってください（80ページ）。
	録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 →「オン」に切り換えてください（79ページ）。
録音	録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。
	録音が途中で止まる。	• VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください（60ページ）。 • 予約録音しているときは、予約録音準備のため、予約録音時刻の約1分前に自動的に録音が止まります。
	VOR機能が働かない。	• シンクロ録音では、VOR機能は働きません（63ページ）。 • ラジオを録音しています。ラジオ録音中はVOR機能は働きません。
	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使ってポータブルラジオレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。 • 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。
再生	再生音量が小さい。	• ポータブルラジオレコーダーに内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 → 付属のヘッドホンまたは、スピーカークレードルに接続して使用してください。
	本体のスピーカーから音が出ない。	• ヘッドホンが挿入されています。 → メニューの「スピーカー出力設定」の「本体使用時」の設定が、「自動（ヘッドホン優先）」に設定されている場合、ヘッドホンを接続すると音声がヘッドホンから出力されます。ヘッドホンを抜くか、「本体使用時」の設定を「スピーカー固定」にしてください（80ページ）。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。 • メニューの「スピーカー出力設定」の「本体使用時」の設定が、「スピーカー固定」に設定されています。 →「本体使用時」の設定を「自動（ヘッドホン優先）」にしてください（80ページ）。

分類	症状	原因／処置
再生	「エフェクト」で音質が変化しない。	• エフェクト機能はヘッドホン使用時のみ有効です。ただし、ラジオ受信中はエフェクト設定は無効になります。 • エフェクト機能は音楽ファイル、ポッドキャストファイルの再生時のみ有効です。録音したファイルの再生時は、エフェクト機能は無効になります。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• DPC（速度調節）の設定が「オン」になっているため、調節した再生スピードで再生されています。 → DPC（速度調節）の設定を「オフ」にすると、通常の速度で再生されます。または、DPC（速度調節）の設定で再生スピードを調節してください（52ページ）。 • LPCM形式のファイルは、x1.00倍速を超える速さで再生できません。
編集	ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がありません。 • 選んだフォルダに199のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する（66ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 • ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	• ポッドキャストファイルは移動できません。 • 保護されているファイルは移動できません。
	ファイルを別のフォルダへコピーできない。	• ポッドキャストファイルはコピーできません。
予約	予約が設定できない。	• 地域が正しく設定されていません。 → 地域を設定してください（77ページ）。 • 年月日や時計が正しく設定されていません。 → 時計を正しく設定してください（76ページ）。
	予約が作動しない。	• 年月日や時計が正しく設定されていません。 → 時計を正しく設定してください（76ページ）。 • 予約の日時がずれています。 • ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続していると、予約設定時刻になっても予約は作動しません。 → 予約設定時刻にはポータブルラジオレコーダーをパソコンから取りはずしてください（87ページ）。 • 録音中はオンタイマーは動作しません。 • 予約録音開始時刻に電源が入っていないときは、表示画面に何も表示されませんが、録音を実行しています。
時計	時計表示が「----年--月--日」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていません（76ページ）。
	録音日時表示が「----年--月--日」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
	自動時刻補正が働かない。	• 時刻補正設定で自動時刻補正が設定されていません。 →「自動時刻補正」を「オン」に設定してください（77ページ）。 • AMラジオのP01にNHK第1またはNHK第2が登録されていません。 • AMラジオの受信状態がよくありません。 → ラジオのアンテナを確認してください（24ページ）。 • 予約録音の動作中は自動時刻補正が働きません。 • 設定された時刻が3分以上ずれていると処理中に時報音が検出できないため、自動時刻補正が働きません。

分類	症状	原因／処置
表示	ポータブルラジオレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	• ポータブルラジオレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
ファイル	「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する（66ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	• 選んだフォルダに199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル（フォルダが21個のとき）が入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する（66ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。
	メモリーカードが認識されない。	• メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください（21ページ）。 • ポータブルラジオレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください（22ページ）。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	• 電池残量がない状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、ポータブルラジオレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ポータブルラジオレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ポータブルラジオレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンからポータブルラジオレコーダーをはずし、再度接続してください。 • USBハブ、またはUSB延長ケーブルをお使いの場合は、付属のUSBケーブルを使って、ポータブルラジオレコーダーをパソコンに直接接続してください。 • ポータブルラジオレコーダーが対応しているシステム構成（90ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください
	ポータブルラジオレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • ポータブルラジオレコーダーで対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。ポータブルラジオレコーダーの仕様をご確認ください（90ページ）。
	パソコンが起動しない。	• ポータブルラジオレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → ポータブルラジオレコーダーをパソコンからはずして起動してください。

こんなときは（Sound Organizer）

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が不足しています。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとしています。 → 対応しているOS（ヘルプガイド参照）にインストールしてください。 • Windows Vista、Windows 7、Windows 8またはWindows 8.1のGuestアカウントでログオンしています。 → 「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。 • 日本語以外のOSにインストールしようとした。 → 日本語のOSにインストールしてください。
ポータブルラジオレコーダーと接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – ポータブルラジオレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行している。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。 • 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップしたあとで、内蔵メモリーおよびメモリーカードをポータブルラジオレコーダーで初期化してください（80ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、またはパソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていません。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。 • ミュートが解除されていません。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。）
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、Sound Organizerのヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、または雑音が入る。	• 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度ポータブルラジオレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（*ポータブルラジオレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。）
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、ポータブルラジオレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	• ポータブルラジオレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ポータブルラジオレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 ホールドスイッチを解除してください	• ポータブルラジオレコーダーが誤操作防止（ホールド）状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください（23ページ）。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去などができません。内蔵充電式電池を充電してください（13ページ）。
充電してください	• 電池が消耗しています。内蔵充電式電池を充電してください（13ページ）。
更新に必要な電池残量がありません	• 電池残量が充分ではないため、ソフトウェアのアップデートができません。内蔵充電式電池を、電池マークが「FULL」になるまで充電してください（13ページ）。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• ポータブルラジオレコーダーが対応していないメモリーカードが使われています。「ポータブルラジオレコーダーで使用できるメモリーカード」をご覧ください（21ページ）
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。メモリーカードのロックを解除してください。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が働いているメモリーカードを挿入しました。ポータブルラジオレコーダーではお使いいただけません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください（66ページ）。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください（66ページ）。
登録が一杯です	• ラジオのプリセット登録は30件までです。未使用のプリセット登録を解除してください。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください（71ページ）。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です／メモリーカードの初期化が必要です	• パソコンでメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化したためUSB 端子で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューでメモリーの初期化をしてください（80ページ）。パソコンで初期化しないでください。
処理を継続できません	• RESETボタンを押して、ポータブルラジオレコーダーを再起動してください（95ページ）。それでも解決しない場合は、必要なデータをバックアップしてからメニューでポータブルラジオレコーダーのメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化してください（80ページ）。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、予約設定できません。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1つもファイルがありません。ファイル移動などの操作ができません。

メッセージ表示	原因
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイル移動/コピー」はできません。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。 ポータブルラジオレコーダーで保護を解除する(75ページ)か、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時で予約設定をしようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(76ページ)。
非対応のデータです	• ポータブルラジオレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ポータブルラジオレコーダーが対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは「ポータブルラジオレコーダーの仕様」をご覧ください(90ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• 再生専用エリアの「♫(ミュージック)」、「◎(ポッドキャスト)」で管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 • メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • ファイルの長さが1秒未満やトラックマーク位置の前後0.5秒未満の位置では分割操作やトラックマーク操作ができません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(LPCMは2GB、MP3は1GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください(66ページ)。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
シーンセレクトが解除されました	• メニューの「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに、メニューの録音モード、マイク感度設定、録音フィルター、VORの設定を変更すると、自動的に「シーンセレクト」が「オフ」に変更されます(58ページ)。
ラジオ受信する地域を設定してください	• ラジオを受信する地域が設定されていないと、放送局名を変更することはできません。地域を設定してください(77ページ)。
プリセット登録してください	• 放送局(周波数)がプリセット登録されていないと、放送局名を変更することはできません。放送局をプリセット登録してください(30ページ)。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。RESETボタンを押して、ポータブルラジオレコーダーを再起動してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
録音中は設定できません/録音中は変更できません	• 録音中はメニューの「マイク感度設定」を「オート」に設定できません。また、「オート」から他の設定に変更することもできません。録音を一時停止してから、設定を変更してください。
再生中は操作できません	• オプションメニューや各種設定メニューで、再生中は実行できない項目を選んでいます。再生を停止してから、操作してください。

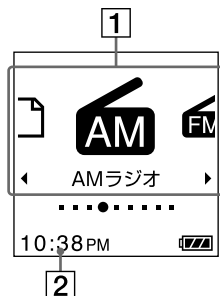
メッセージ表示	原因
録音中は操作できません	• オプションメニューや各種設定メニューで、録音中は実行できない項目を選んでいます。録音を停止してから、操作してください。
ラジオ中は操作できません	• オプションメニューや各種設定メニューで、ラジオ受信中は実行できない項目を選んでいます。ラジオ受信を終了してから、操作してください。
設定できません 予約nnと重複しています	• 他の録音予約と時刻が重なっています。時刻を変更して録音予約設定をし直してください（42ページ）。 ※メッセージの「nn」は予約番号です。
予約録音中です 操作できません	• 予約録音中はファンクションの切り換えなどの操作ができません。予約録音を止めてから操作してください（41ページ）。
曜日が選択されていません	• 録音予約を「曜日設定」で設定する場合は、曜日を選んでください（40ページ）。
予約件数の上限20件を超えています	• 録音予約件数が最大になったため、新たに録音予約を設定できません。他の予約を削除してからやり直してください（42ページ）。
開始時刻と終了時刻が同じです	• 録音予約およびオンタイマーの終了時刻は開始時刻から1分後～ 23時間59分後に設定してください。
予約がありません	• 録音予約が設定されていません。
放送局が登録されていません	• 放送局を登録してください（30ページ）。
未登録です。登録時はボタンの長押しが必要です	• お気に入りラジオ局ボタンに放送局を登録してください（28ページ）。
設定できません 時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、自動時刻補正の設定ができません。時計を合わせてください（76ページ）。
設定できません AMラジオのプリセットP01を設定してください	• 時報を利用した時刻の自動補正が設定できません。AMラジオのプリセットP01にNHK第1放送またはNHK第2放送を登録してください。
フォルダがありません	• ファイル移動やファイルコピーで選択できるフォルダがありません。

システム上の制約

ポータブルラジオレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

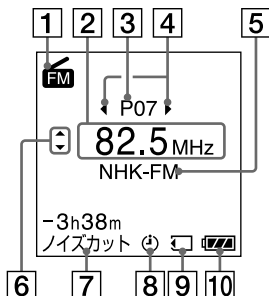
症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、ポータブルラジオレコーダーに転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつポータブルラジオレコーダーに転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限（LPCMは2 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• ポータブルラジオレコーダーで表示できない文字が使用されています。パソコンでポータブルラジオレコーダーで表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

表示窓について

ホームメニュー操作時の表示窓

ご注意
記載の画面は、画面機能の説明のため、一部実際の画面表示とは異なる場合があります。また、選んでいるファイルによっては実際には表示されない項目も説明のために表示している場合があります。

1 ホームメニュー表示
以下のメニューを選択できます。
: ポッドキャスト
: ミュージック
: 録音したファイル
: AMラジオ
: FMラジオ
: マイク録音
: オーディオ入力
: 各種設定
: XX画面へ(XXには、現在使用している機能が表示されます。)

2 現在時刻表示
現在の時刻が表示されます。

ラジオ受信時

1 AMラジオ／FMラジオマーク
AMラジオ／FMラジオ受信時に表示されます。

2 受信周波数

3 プリセット番号

4 プリセット切り換え操作ガイド
⏮ または ⏭ を押して、プリセット番号を切り換えることができます。

5 放送局名表示
プリセットに放送局名が登録されているときに表示されます。

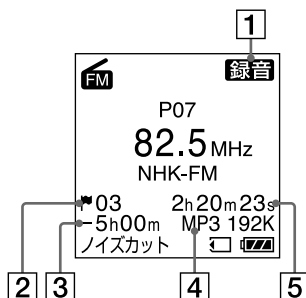
6 受信周波数切り換えガイド(▲／▼)
▲ または ▼ を押して、受信周波数を切り換えることができます。

7 ノイズカット表示
メニューでラジオノイズカットが「オン」に設定されているときに表示します。

8 予約表示
録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。

9 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

10 電池マーク

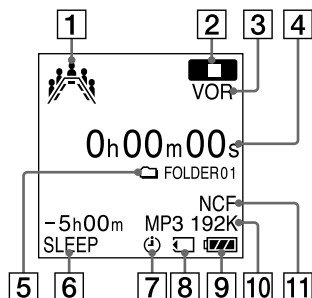
ラジオ録音時

1 動作モード表示
ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。
録音 : 録音中
●II : 録音一時停止中に点滅

2 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

3 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合は表示されません。
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

4 録音モード表示
録音されているファイルの録音モードが表示されます。
リニアPCMでは、ラジオを録音できません。

5 録音経過時間表示
1ファイルの録音経過時間を表示します。

停止時

1 シーンセレクト設定／内蔵マイク感度設定表示
選択しているシーンまたはメニューで設定されている内蔵マイク感度設定が表示されます。
：おまかせボイス
：会議
：講義
：ボイスメモ
：インタビュー
：歌・音楽
：Myシーン1
：Myシーン2
：マイク感度　オート
：マイク感度　高
：マイク感度　中
：マイク感度　低
：マイク感度　高（音楽）
：マイク感度　低（音楽）

2 動作モード表示
ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。
■: 停止中

3 VOR録音表示
VOR：VOR録音を「オン」に設定中に表示されます。

4 経過時間
1ファイルの経過時間が表示されます。

5 フォルダ名表示
録音先のフォルダ名が表示されます。

困ったときは

6 スリープタイマー表示
スリープタイマーが設定されているときに表示されます。

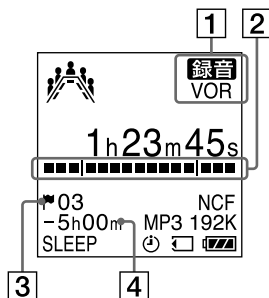
7 予約表示
録音予約やオンタイマーが設定されているときに表示されます。

8 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

9 電池マーク

10 録音モード表示
メニューで設定されている録音モードが表示されます。

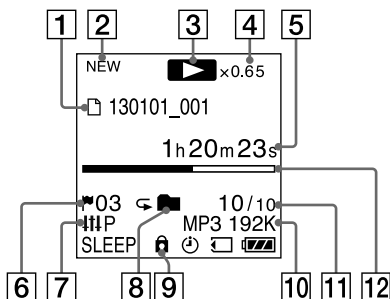
11 録音フィルター表示
録音フィルターの設定が表示されます。
NCF：NCF(Noise Cut)に設定されているときに表示されます。
LCF：LCF(Low Cut)に設定されているときに表示されます。

録音時

1 動作モード表示
ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。
録音：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
録音／**VOR**：VOR録音中
●II／**VOR**：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると●IIだけが点滅します。
録音／**SYNC**：シンクロ録音中
●II／**SYNC**：シンクロ録音一時停止中に点滅

2 録音レベルガイド
録音時、録音音量の目安に、入力されている音量のレベルと最適音量域を表示します。

3 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

4 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合は表示されません。
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

再生時

1 ファイル情報表示
再生中のファイルの情報が表示されます。
ポータブルラジオレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。
：ファイル名を表示：年月日_番号（例：140101_001）
音楽ファイルやポッドキャストのファイルは、下記の情報が5秒ごとに切り換わって表示されます。
：アーティスト名を表示：My Recording
：タイトル名を表示：年月日_番号（例：140101_001）

2 ポッドキャスト新着情報
Sound Organizerから新しいポッドキャ

ストファイルが転送された場合に表示されます。一度再生すると表示は消えます。

3 動作モード表示
ポータブルラジオレコーダーの動作状態に応じて下記のように表示されます。
▶：再生中
◀◀ ▶▶：早戻し／早送り再生中
|◀◀ ▶▶|：連続ファイル戻し／送り

4 再生速度表示
DPC（速度調節）が「オン」に設定されている場合、設定されている再生速度を表示します。

5 経過時間表示
1ファイルの経過時間を表示します。

6 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

7 エフェクト表示
音楽ファイルやポッドキャストファイルを再生している場合、音質を切り換えているとき表示されます。
P：ポップス
R：ロック
J：ジャズ
BA1：ベース1
BA2：ベース2
C：カスタム

8 再生モード表示
1：1ファイル
：フォルダ
ALL：全ファイル
1：1ファイルリピート
：フォルダ内ファイルリピート
ALL：全ファイルリピート

9 保護マーク
ファイルが保護されているときに表示されます。

10 録音モード表示
再生されているファイルの録音モードが表示されます。

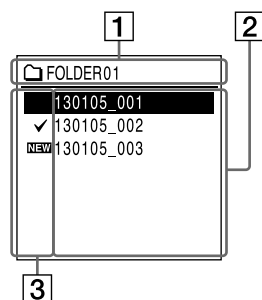
11 ファイル位置情報表示
選んだファイル番号が分子に、フォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

12 再生位置表示
現在の再生位置を表示します。

フォルダ一覧表示時

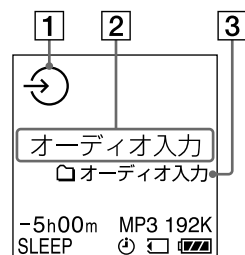
1 エリア表示
録音可能エリア、再生専用エリアを表示します。
録音したファイル：録音可能エリア。ポータブルラジオレコーダーで録音したファイルを管理します。
ミュージック：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理します。（フォルダ、ファイルがない場合は、表示されません。）
ポッドキャスト：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理します。（フォルダ、ファイルがない場合は、表示されません。）

2 フォルダ
選択したエリア内のフォルダが表示されます。
一行目の「最後に録音したファイル」は、「（ミュージック）」または「（ポッドキャスト）」を選んだ場合は、表示されません。

ファイル一覧表示時

1 フォルダ表示
フォルダアイコンとフォルダ名が表示されます。

2 ファイル一覧
フォルダに保存されているファイル名が一覧表示されます。

3 現在位置表示／ポッドキャスト新着情報
✓：現在選択されているファイルに表示されます。（ポッドキャスト新着情報より優先表示されます。）
NEW：Sound Organizerから新しいポッドキャストファイルが転送された場合に表示されます。

オーディオ入力時

1 オーディオ入力マーク

2 オーディオ入力表示

3 フォルダ名表示
録音先のフォルダ名が表示されます。

放送局名一覧

ポータブルラジオレコーダーには国内の以下の放送局の名前があらかじめ登録されています。この放送局名一覧は、各地域における代表的な放送局名を記載しています。（2014年1月現在）
お使いになる場所によっては放送局名が異なる場合があります。

AM

地域設定	放送局名
北海道（札幌）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（函館）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（旭川）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（帯広）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（釧路）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（北見）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ
北海道（室蘭）	NHK第1
	NHK第2
	HBCラジオ
	STVラジオ

地域設定	放送局名
青森	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
岩手	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
秋田	NHK第1
	NHK第2
	IBCラジオ
	ABSラジオ
	RABラジオ
	AFN
宮城	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島
山形	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島

地域設定	放送局名
福島	NHK第1
	NHK第2
	YBCラジオ
	TBCラジオ
	ラジオ福島
埼玉	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
千葉	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
東京	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本
神奈川	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	TBSラジオ
	文化放送
	ニッポン放送
	ラジオ日本

地域設定	放送局名
茨城	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
栃木	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
群馬	NHK第1
	NHK第2
	TBSラジオ
	文化放送
	IBS茨城放送
	ニッポン放送
	CRT栃木放送
山梨	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ
長野	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ
静岡	NHK第1
	NHK第2
	YBSラジオ
	SBCラジオ
	SBSラジオ

地域設定	放送局名
愛知	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
岐阜	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
三重	NHK第1
	NHK第2
	CBCラジオ
	東海ラジオ
	AM岐阜ラジオ
新潟	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
富山	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
石川	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ

地域設定	放送局名
福井	NHK第1
	NHK第2
	KNBラジオ
	FBCラジオ
	MROラジオ
	BSNラジオ
大阪	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
京都	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
兵庫	NHK第1
	NHK第2
	ラジオ関西
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
滋賀	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送

地域設定	放送局名
奈良	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送
和歌山	NHK第1
	NHK第2
	ABCラジオ
	KBS京都
	MBSラジオ
	ラジオ大阪
	WBS和歌山放送
鳥取	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
島根	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
岡山	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN

地域設定	放送局名
広島	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
山口	NHK第1
	NHK第2
	KRYラジオ
	BSSラジオ
	RCCラジオ
	RSKラジオ
	AFN
徳島	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRT四国放送
	RNC西日本放送
香川	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRT四国放送
	RNC西日本放送
愛媛	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRT四国放送
	RNC西日本放送
高知	NHK第1
	NHK第2
	RKCラジオ
	RNBラジオ
	JRT四国放送
	RNC西日本放送

地域設定	放送局名
福岡（福岡）	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
福岡（北九州）	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
佐賀	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
長崎	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN
大分	NHK第1
	NHK第2
	OBSラジオ
	NBCラジオ
	RKBラジオ
	KBCラジオ
	AFN

地域設定	放送局名
熊本	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
宮崎	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
鹿児島	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ
沖縄	NHK第1
	NHK第2
	AFN
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄
	MRTラジオ
	MBCラジオ
	RKKラジオ

FM

地域設定	放送局名
北海道（札幌）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（函館）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（旭川）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（帯広）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（釧路）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（北見）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
北海道（室蘭）	NHK-FM
	AIR-G'
	NORTH WAVE
青森	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
岩手	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
秋田	NHK-FM
	エフエム岩手
	エフエム青森
	エフエム秋田
宮城	NHK-FM
	Date fm
	エフエム山形
	ふくしまFM

地域設定	放送局名
山形	NHK-FM
	Date fm
	エフエム山形
	ふくしまFM
福島	NHK-FM
	Date fm
	エフエム山形
	ふくしまFM
埼玉	NHK-FM
	InterFM
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
千葉	NHK-FM
	InterFM
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
東京	NHK-FM
	InterFM
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ
神奈川	NHK-FM
	InterFM
	bayfm
	FM NACK5
	TOKYO FM
	J-WAVE
	FMヨコハマ

地域設定	放送局名
茨城	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
栃木	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
群馬	NHK-FM
	RADIO BERRY
	放送大学
	FMぐんま
山梨	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
長野	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
静岡	NHK-FM
	K-MIX
	FM長野
	FM-FUJI
愛知	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重
岐阜	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重

地域設定	放送局名
三重	NHK-FM
	ZIP-FM
	Radio 80
	FM AICHI
	レディオキューブ FM三重
新潟	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
富山	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
石川	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
福井	NHK-FM
	FM福井
	FM-NIIGATA
	FM PORT
	エフエム石川
	FMとやま
大阪	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE

地域設定	放送局名
京都	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE
兵庫	NHK-FM
	FM COCOLO
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
	Kiss-FM KOBE
滋賀	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
奈良	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
和歌山	NHK-FM
	FM COCOLO
	e-radio
	FM802
	FM OSAKA
	α-STATION
鳥取	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口

地域設定	放送局名
島根	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
岡山	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
広島	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
山口	NHK-FM
	FM岡山
	V-air エフエム山陰
	HFM
	エフエム山口
徳島	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	FM高知
香川	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	FM高知
愛媛	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	FM高知

地域設定	放送局名
高知	NHK-FM
	FM香川
	FM愛媛
	エフエム徳島
	FM高知
福岡（福岡）	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	CROSS FM
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
福岡（北九州）	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	CROSS FM
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
佐賀	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	CROSS FM
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
長崎	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	CROSS FM
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分

地域設定	放送局名
大分	NHK-FM
	LOVE FM
	エフエム佐賀
	CROSS FM
	エフエム長崎
	fm fukuoka
	エフエム大分
熊本	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
宮崎	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
鹿児島	NHK-FM
	FMKエフエム·クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄

地域設定	放送局名
沖縄	NHK-FM
	FMKエフエム・クマモト
	μ-FMエフエム鹿児島
	JOY FM FM宮崎
	エフエム沖縄
	AFN
	NHK第1
	NHK第2
	RBCiラジオ
	ROKラジオ沖縄

サポートホームページで調べる

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ポータブルラジオレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ（http://www.sony.jp/support/ic-recorder/）でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

□ Q&A（よくある問い合わせ情報）
□ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
□ 製品別サポート情報
□ Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
□ 重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
□ 製品登録（製品登録へのご案内）
□ Sound Organizerや「ヘルプガイド」のダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

ヘルプガイドは、ヘルプガイドページ（http://rd1.sony.net/help/icd/iczr100/jp/）で見ることができます。

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

禁止

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

ぬれた手でACアダプターをさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

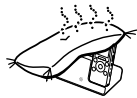
海外で使用しない

禁止

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

本体やACアダプターを布団などでおおった状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ポータブルラジオレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

ポータブルラジオレコーダーを廃棄するときのご注意

Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。
この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。（「ソニーの相談窓口」の連絡先は裏表紙に記載されています。）

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™ メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLC. の商標です。

- Memory Stick Micro™（M2™）および は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

- MagicGate™はソニー株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

本製品はメモリースティック マイクロ™（M2™）メディアに対応しています。M2™はメモリースティック マイクロ™の略称です。本文では略称M2™を用いて記述しています。

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

索引

アルファベット

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.jp/support/ic-recorder）
  ポータブルラジオレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［ポータブルラジオレコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆セット本体に関するご質問時：
- 型名：ICZ-R100
- シリアルナンバー：本体裏面
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

◆ソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	0120-333-020
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9577
修理相談窓口	フリーダイヤル	0120-222-330
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4488536O2(1)